

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【484】

2. 日時：令和5年5月24日 15時05分～17時55分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、千明主任安全審査官、中村主任安全審査官、

服部(正)主任安全審査官、府川安全審査官、谷口技術参与、

三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他34名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理 他1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、規制庁チギラです。それでは島根原子力発電所 2 号機設工認のヒアリングを始めます。本日の説明項目は、耐震計算書関係のコメント回答。
0:00:13	となります。
0:00:14	それでは資料の確認と、本日の説明、
0:00:20	の説明方法について説明をお願いします。
0:00:27	はい。中国電力の秦です。
0:00:29	ではまず、本日のヒアリングの進め方についてご説明いたします。本日は夏のパートに分かれてございまして、ほとんどはアノて記載の適正化となっておりますのでそれぞれのパートごとにですね、説明をして質疑、
0:00:45	という形で進めさせていただければと思っております。
0:00:49	それから、提出資料の資料番号の裁判をこれから行います。
0:00:54	まず一つ目のパートとして耐震基本方針、耐震評価対象の網羅性期工認、既工認との地方除いて、法人の方に引き込みとの
0:01:06	地方についてですけども、二つ資料ございましていずれも 5 月 18 日提出になっております。
0:01:13	まずN-Sに他の 130 回 07、これを資料ナンバー1 とします。次にN-S2 報の 023-02 回 07。
0:01:24	こちらを資料番号 2 とします。
0:01:27	続きまして、耐震計算書、入力地震動の評価に、こちらも 2 冊ございまして、5 月 18 日の提出となっております。
0:01:37	N-S2 の他の 09807、こちらをナンバー3。
0:01:44	NSDのホリノ 023 の 09 階 06 をNo. 4 とします。
0:01:50	次に、耐震基本方針、水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせの資料ですけどもこちらは 3 冊ございまして、5 月 22 日に提出しているものでございます。
0:02:03	N-S2 の他の 264 回 06、こちらの資料ナンバー5。
0:02:09	N-S飯野店 2-015-01 回 05、No.6。
0:02:15	図NS2 の 5-023-04 階 06、No.7 とします。耐震基本、基本方針の
0:02:27	地盤の申請に関する資料ですけどもこちらは 4 冊ございまして、
0:02:33	と、資料資料番号でいきますとN-S飯野他の 056 回、15、こちらのナンバー8。
0:02:41	N-S2 の添 2-001-03 回 01、こちらNo.9、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	N-S2-添2-001-03 サカイ01、括弧日。
0:02:53	こちらのナンバー10とします。この3冊が5月23に提出している資料でございます。
0:03:00	それから、AS2の方の023-01の解15、こちらをNo.11とします。こちらは5月18日に提出した資料になります。
0:03:11	続きまして、耐震基本方針の地下水位低下設備に関する資料でして、こちらは2月でございます。
0:03:20	N-S飯野他の0208回03、こちらNo.12。
0:03:26	NSDのホ-023の11回03、こちらNo.13といたします。
0:03:36	続きまして共同計算書を火山関係につきまして、
0:03:40	N、こちらは5月18日にすべて提出しているものでして4冊でございます。
0:03:47	なお、N-S新野他の194回09を、No.14
0:03:53	NSEの件、3-014回03をNo.15。
0:03:58	N-S2の添3-014-13回03を、No.16、
0:04:04	N-S2の添3-014-18回04、こちらをNo.17年ます。
0:04:11	最後に耐震計算書の18、17年に新海参事他10鋼管杭式擁壁につきましては2冊ございましてこちらは5月18日に提出しております。
0:04:23	N-S新野他の231回、40、こちらのナンバー18。
0:04:28	NSDのほんの027-081回40人、こちらNo.19とします。
0:04:35	資料は以上になります。おそろいでしょうか。
0:04:38	はい。規制庁、日浦です。はい。資料の方確認できましたので、それでは一つ目のパートの方の説明からお願いします。
0:04:52	中国電力の柏木です。ではまず一つ目のパートで網羅性と、既工認との手法除いての整理についてご説明をさせていただきます。資料一番をお願いします。
0:05:05	こちら回答整理表になりますが、コメントにつきましては1枚目と2枚目のところで、前回までのヒアリングでご回答をさせていただいております。
0:05:16	3ページ目をお願いします。
0:05:21	こちらが適正化箇所になりますが、代表的なものとして1点ご説明をさせていただきます。
0:05:28	一番上のナンバー137番ですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:31	適正化内容としまして、他資料における審議を踏まえ、Sクラス施設の間接支持構造物として屋外配管ダクト括弧排気塔を、上位から施設に波及的影響を及ぼす恐れのある下位庫施設として、
0:05:45	ディーゼル燃料移送ポンプエリア防護対策設備及びディーゼル燃料貯蔵タンク室を追加しております。具体的に資料でご説明をさせていただきます。
0:05:55	2番の資料の13ページをお願いします。
0:06:05	13ページの黄色ハッチングのところですが、Sクラス設備の間接支持構造物の評価ということで、
0:06:12	屋外配管ダクト廃棄等の記載を追加しております。オクは閉館ダクト廃棄等につきまして、基準地震動Ssによる地震力に対して、構造部材に生じる応力または変形が許容値許容限界値以下であることを確認するという記載を追加いたしました。
0:06:28	続いて41ページをお願いします。
0:06:34	こちら添付資料1で別表第二を踏まえた対象設備の網羅性の表になりますが、
0:06:40	黄色ハッチングのところの間接支持構造物として、屋外配管ダクト括弧排気塔を波及的影響の施設としてディーゼル燃料貯蔵タンク室を追加しております。
0:06:51	2ページめくっていただいて、43ページ以降の添付の4-1になりますが、
0:06:59	こちら重要度分類を踏まえた整理の、町のリストになりますがこちらにも同様の設備を追加しております。ご説明はこちらは割愛をさせていただきます。
0:07:10	続いて60ページをお願いします。
0:07:18	こちらは建物構築物、土木構造物関係の評価対象の一覧になっておりますがこちらについても、真ん中のところの間接支持構造物の欄の黄色ハッチングで、構築物として屋外配管ダクト廃棄等を追加しております。
0:07:32	また一番右側の波及影響の施設のところディーゼル燃料貯蔵タンク室を追加しております。
0:07:39	次ページ以降のリストのところにも同様な設備を追加をさせていただきました。
0:07:44	続きまして91ページをお願いします。
0:07:54	こちらは既工認との手法の整理の一覧表になりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:59	黄色ハッチングのところ、間接支持構造物として屋外配管ダクト括弧廃棄等の具体的な評価手法について記載を追加いたしました。
0:08:10	続いて 99 ページをお願いします。
0:08:15	こちらは波及影響の施設ですがこちらにディーゼル燃料貯蔵タンク室、一番下のところの黄色ハッチングのところですが、こちらも同様に評価内容を追加をさせていただきました。
0:08:28	網羅性、同機構の相違点に関するご説明は以上になります。
0:08:34	はい、規制庁チギラですね。
0:08:41	終わらせております。ご説明は以上になります。
0:08:46	はい。
0:08:46	では、今の適正化課長。
0:08:49	の説明。
0:08:51	とですね、あとそれ以外でもですねちょっと確認する点等ありましたら、お願いします。
0:09:06	規制庁の服部です。
0:09:08	②の資料の、
0:09:11	26 ページをお願いします。
0:09:14	これちょっと念のための確認なんですけども、
0:09:17	下、
0:09:19	(3)の耐震補強工事の、
0:09:22	ポツ、
0:09:24	あとせん断補強後施工せん断補強工法、括弧、
0:09:30	ポストヘッドバー工法って書いてあるんですけど、
0:09:33	これあれでしたっけ。
0:09:35	セラミック呉は使ってないんでしたっけ。
0:09:44	はい。中国電カイワコケです。
0:09:46	こちらの資料につきましては既工認で申請をしております。取水槽と、25 ページに書いてあるの取水槽と、
0:09:54	Pの屋外配管ダクトのタービン建物から排気塔
0:09:58	こちらについて耐震補強した内容について記載をしております。
0:10:01	なので先ほど服部が言いました、セラミックキャップバー工法につきましては、その他構造物で適用しておりますのでこちらの資料には記載をしていません。以上です。市長のハットリですはいわかりました私から以上です。
0:10:21	規制庁の小林です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:24	それと②の資料でちょっと記載のちょっとした細かいところの確認なんですけど、
0:10:30	今ちょっと確認 18 ページ目のところ、引用する規格で 18 ページ目のところで、
0:10:36	約 4601 っていうのが、今まで書いてある(11)(12)で 4601460 っていう書いてるんですけど、
0:10:45	よくほかの紙を見ると、
0:10:47	194601-1987 で以下 4601 と少数とかというような記載になって、一応こういうふうな完結型に表現してるのが多いんですけど。
0:10:58	ちょっとこの私が見た限りでは、今回のこの 1 章の中では、4601 が何年のものを生じてるかっていうのが、
0:11:07	読み取れなかったのそれはどっかに記載されてるっていうことでよろしいですかちょっとそこが確認できなかったんで、その確認です。
0:11:25	中国電力の柏木です。ご指摘の内容承知しましてちょっと確認資料の全体として確認させていただいて、必要に応じて適正化をさせていただきたいと思います。以上です。お願いします。
0:11:43	はい、規制庁チギラズ他、
0:11:46	はい。
0:11:47	ちょっと私から 1 点なんですけど、
0:11:50	資料②の、
0:11:52	4 ページと 5 ページで、4 ページのところ、中段から評価手順の説明ということで、ちょっとこの当初ですね改めて読んだときにですね、
0:12:06	別表第 2 寺下設備の選定っていうのがあって、ここでは
0:12:14	非常用取水設備とかですね間接支持構造物っていうのが出てきているんですけど、
0:12:20	5 ページに行くと、
0:12:22	この
0:12:24	確認手順フローの中で、
0:12:26	フローの真ん中ぐらいに、右側に敷地内土木構造物っていうのがいて、
0:12:33	敷地内土木構造物って別表第 2、
0:12:37	設備行って、非常用取水設備と同格なような気がするんですけど、ここで何か別、
0:12:45	区別して、こういう、このような、
0:12:50	扱って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:51	て整理してるっていうのは、何か理由があったんでしたっけっていう確認をさせてください。
0:13:12	中国電力の鹿島です。
0:13:15	先ほど抑止ぐいの件だ先行サイトの事例も確認しておりますけれども、こちら先行サイトでも、今回のところに該当しておりませんので今回、
0:13:27	同様にですね、アノシマの方も入れております。以上です。
0:13:35	はい、先行ではそのような方、でも、
0:13:39	基本的にはこのような形で書い整理はしているんですけど別表第2施設、
0:13:47	であるということで、うちの方に行くと、これもちょっとわかりづらかったんですけど40ページ、
0:13:55	丸の内の40ページのところで、
0:14:01	敷地内土木構造物があるんですけど吉国ですね、このところで、
0:14:08	備考のところに書いてあってこれで計算書を添付してますというふうに整理をしていると。
0:14:18	いうことで
0:14:21	計算書は、しっかりついていて評価もされてるっていうのはわかったんですけどこの整理だけがちょっと、
0:14:28	非常用取水設備と、
0:14:31	スピネル土木構造物ってカクウ同じなのに何でかなっていうふうに思ったんですけど。
0:14:40	基本的にこの選考になったっていう。
0:14:43	以外に何かこう、このような整理をしたっていう理由は特にないということですか。
0:14:52	それで答えてね。
0:14:57	中国電力の鹿島です。趣旨理解いたしました。改めて全厚の例も確認したし、した上でですね、ちょっと必要に応じて修正することは考えたいと思いますけれども、
0:15:09	はい。以上です。はい。
0:15:12	多分この、この補足だけで収まるような気もするので、例えば、都築で60ページのところとかですね、61ページとか、
0:15:24	もう非常用取水設備、
0:15:28	と、その敷地内土木構造物の抑止部位が同じような扱いであればちょっと、
0:15:36	記載の先ほども変わってくるのかなと思ったのでその辺りちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:41	検討いただいて
0:15:43	必要に応じている前適性が必要であればですね、適正化をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
0:15:50	はい中国電力はシマです承知いたしました。
0:15:54	あ、はい、ほか。
0:16:02	規制庁のハットリです。ちょっと1点だけ今の話で確認した今の話と、直接関係ないんですけど、
0:16:09	あれ敷地内土木構造物。
0:16:12	野中新居。
0:16:14	なんか土留工が入っている資料があった気もしたんですけど。
0:16:20	それはなくなって今波及的影響のところに行ってるんですけど。
0:16:26	はい。中国電力の鹿島です。一度ですねこちら7回の補正のときに敷地内土木構造物ということで、よく周囲の方すいません土どめ工も入れておりましたが、
0:16:38	ヒアリングでもご説明いたしましたように、こちらの斜面对策に期待しなくてもですね、斜面の法成立することを確認できておりますので、現在、
0:16:48	努力の方は落としておりますちょっとミヤマ1をですね残っているところがないか確認してみたいと思います。以上です。
0:16:55	規制庁の服部ですわかりました。ちょっと気になったのは、
0:16:59	今
0:17:03	資料を出していただいている、
0:17:10	フィックスに近いような、その資料も提出されているところもあるんですけど、何かそこに入ってたよ、残ったような気もしたので、ちょっと確認しました。
0:17:21	なのでちょっと1回全体を見渡してもらって、残ってるものがないかだけ
0:17:26	ないかだけ確認しておいてください。私から以上です。
0:17:30	はい。中国電力勝間です。承知いたしました。
0:17:35	はい。規制庁チギラです。他、よろしいでしょうか。
0:17:39	はい。
0:17:40	特になければ、一つ目のパートについては以上といたします。
0:17:45	はい。
0:17:46	では、二つ目のパートについて説明をお願いします。
0:17:52	はい。中国電力の小熊です。それでは、入力地震動評価の説明の方させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:58	資料のナンバー3、回答整理表、
0:18:01	こちらの6ページをお願いいたします。
0:18:05	こちらが、ここに記載適正化解消となっておりますして今回、ナンバー57に記載しております適正化意見。
0:18:12	となっております。
0:18:14	内容としては屋外配管ダクト排気棟及び全燃料貯蔵タンク室の入力地震動評価に関する記載を追記しましたということになっております反映箇所について代表的な部分について資料、
0:18:26	以上説明をさせていただきたいと思います。
0:18:29	資料ナンバー4の7ページをお願いします。
0:18:38	Ⅱ-3、建物構築物の入力地震動の評価手法の選定フローをこちらお示しております。
0:18:46	表の中央下側、注2の記載について、3行目のただし文ただし書き以降の部分を追記しております。
0:18:56	屋外配管ダクト及び、以前の貯蔵タンク室の入力地震動の評価手法について、排気塔基礎といった宇宙構造物であることを踏まえて、チラシ49ページの方に示している。
0:19:08	一時は道路プラス提出データに基づく二次元FEM解析を採用していることを追記をこちらにさせていただいております。
0:19:18	続いて11ページをお願いします。
0:19:24	こちら表3-1、入力地震動の評価手法の比較ということで、
0:19:29	戦力地震動の評価手法と、建物構築物の西本解析モデルを、
0:19:34	まとめた表になっております。
0:19:36	表中の黄色ハッチング屋外配管ダクト排気塔と、ディーゼル燃料貯蔵タンク室、
0:19:43	の評価内容について追記をしておりますして、別途個別に計算書でご説明をさせていただいております解析モデル等の情報をこちらに反映しております。
0:19:54	入力地震動に関する説明は以上になります。
0:19:58	はい。規制庁チギラです。はい。それでは入力地震動評価について、確認する点がある方。
0:20:06	よろしいですか。
0:20:08	はい。徳江。
0:20:16	それで規制庁の小林ですけどちょっと教えて欲しいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:21	設置許可の段階かもしれません。ちょっとね今の資料の4-7と7ページ目とか、
0:20:28	8ページ目のところで、
0:20:31	基礎の埋め込みを考慮する考慮しないって判断指標で、
0:20:36	こう三角形で判断されて分かれていくっていうのは、定性的にはわかるんですけども、
0:20:42	これって
0:20:44	埋め込みご考慮しないっていうところは、
0:20:47	何か評価指標とかどういうことで分けるかっていう何か、積極何かどっかの段階で、判断基準みたいな、書いてるところあるんでしょうか。
0:20:58	どのような形で分けるんでしょうかちょっと、もし分かれ、
0:21:02	もうちょっと教えていただきたいんですけども。
0:21:27	はい。中国電力の小熊です。
0:21:30	具体的な判断指標がどうかっていうことは、ちょっとお示しをしてないんですけども、考え方としては、
0:21:37	埋め込みをされてるかどうかっていうこととあと、
0:21:41	埋め込みがされてないっていうものは岩盤の上に直接されていて、周り濃度等で埋め戻しされてないっていうような状況を踏まえた上で判断しているということになります。以上です。
0:22:00	そうすると直接建物、
0:22:04	地下、埋め込みとかその周辺地盤の状況から見て、それぞれ説明されているという、
0:22:11	お伺いということになるんでしょうか。それから考え方でしょうか。
0:22:27	はい。中国電力の小熊です。導入していただいた通りでございます。個別の計算書等においてご説明を、周辺状況の埋め込み状況等を含めて説明させていただいております。以上です。
0:22:41	この人じゃちょっと、それぞれの地震応答解析の中まで見て一応確認します。ありました。
0:22:49	中国電力の落合です少し補足いたしますと、個別の計算書には、特別何か明記してるわけではございませんけども、結局は、各建物ごとで、設置状況を踏まえて、評価を使い分けているということですので、
0:23:05	もう少し具体的に言いますと、先ほど回答した通りですけども、地下階を有しているかどうかっていうことで、観点で使い分けをしております。以上です。
0:23:20	若菜さん、近くありましてわかりました。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:31	はい。他、よろしいですかね。
0:23:34	はい。
0:23:35	では、二つ目のパートの入力地震動の評価については以上といたします。
0:23:39	それでは、三つ目のパートについて、説明をお願いします。
0:23:51	中国電力の宮原です。それでは水平2方向及び鉛直方向地震力の組み合わせについて、説明させていただきます。
0:23:59	まず、建築関係の部分について説明させていただきます。展示関係については、適正化のみとなりますので、その中で、主な項目について説明させていただきます。
0:24:10	資料5の回答整理表、3ページをお願いいたします。
0:24:17	ナンバー186と次の4ページのナンバー214。
0:24:24	の内容になります。
0:24:26	屋外配管ラックと、ディーゼル燃料貯蔵タンク室を新たに建物構築物として分類したため、それらに関する記載を各部署に追加しております。
0:24:38	具体的には、資料6、資料6の3ページ、4ページをお願いいたします。
0:24:46	以降の各表に、屋外配管ダクト、隔壁等と、ディーゼル燃料貯蔵タンク室を
0:24:53	追加しております。
0:24:55	日本コウノ影響確認部位としてそれらの一部の部位を抽出しておりますが、14ページに示しております通り、後述の検討内容には、特に変更はございません。
0:25:07	具体的な抽出分についても、追加しております。資料7の補足説明資料の別紙1、通しのページで224ページ以降になりますが、
0:25:22	そちらの目次を見ていただくとわかると思うんですけども、該当建物部分に、具体的な部分を記載しております。
0:25:30	例えば、273ページ等になります。
0:25:35	資料戻りまして資料5の回答整理表の、
0:25:40	6ページのナンバー251をお願いいたします。
0:25:50	オペフロ上部の画面に対する面外多数面の検討について、面外せん断力の評価に与える面内せん断ひずみの影響について、
0:26:01	考察を追加しております。
0:26:04	具体的な該当部分ですが、資料7の補足説明資料の通しページで378ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:22	木口部分が該当の次部分となりますが、エミのせん断ひずみが許容値の 2000 マイクロに対して小さいこと、また面外せん断耐力が面外 3、せん断力に対して、
0:26:35	余裕があることを踏まえて影響が小さい旨を追加しております。
0:26:40	その他の建築関係の適正化については誤記修正等になりますので、本日の説明は割愛いたします。続いて土木関係について説明いたします。説明者を交代いたします。
0:26:54	はい。中国電力の佐野です。それでは資料ナンバー5-1 ページ、お願いします。
0:27:02	詳細設計申し送り事項のナンバー48 番、コメント内容としましては、水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせによる影響評価について、
0:27:12	従来の設計手法で対応可能と判断された施設は本資料で影響評価対象から除外するとしているが、これらの施設を含めて影響のある施設は、詳細設計段階で、
0:27:23	影響評価をして設計する失うことがわかるよう取りまとめ資料の記載を適正化することといたしております。回答としましてはですね前回までで多くの構造物の評価結果というものを載せておりましたが本日の説明で、
0:27:40	すべての評価結果を追加したことを説明いたしますので本日の説明をもちまして回答とさせていただきたいと思っております。それでは説明の方に移ります。資料ナンバー7 番の、
0:27:53	通しページ 82 ページをお願いします。
0:28:02	82 ページの方にはですね平面図、配置図の方を載せておりますがこちらの方に土留工括弧親食いの方を追加しております。このページ以降の図表等をにつつましても土留工加古藪伊井のほうの記載を追加した内容となっております。
0:28:19	通し番号の 85 ページをお願いします。
0:28:26	こちらのページの真ん中の方に黄色ハッチがございますが、土どめ高角をヤギの記載を追加しております。戸部加古ヤギは、等間隔に線状に配置された、一型 5 と、
0:28:39	願段階で構成され施設ハイウェイ斜面から野末に対して抵抗するが、シミズ直行方向の動圧及び増設呉の影響が、影響は有意に小さいことから線状構造物に準ずるものとして整理するというような記載を追記しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:56	通し番号の 102 ページをお願いします。
0:29:06	線状構造物として整理いたしました土留合格小藪についての記載の追加です。平面図及び断面像このページに示し次ページに正面図の方を示しております。
0:29:19	野辺加古ヤギにつきましては波及的影響を及ぼす範囲に平面上の地点が 2 ヶ所ございますが、
0:29:26	図 3-3-24 の通り、評価対象で青柳が等間隔に配置されたH小であり、それぞれが独立な構造となっていること、配置された以降、定量的なことは想定されずに、
0:29:39	水平 2 方向及び鉛直保護時に組み合わせの影響が少ないことから、影響評価を実施しない方針としております。
0:29:46	通し番号の 106 ページをお願いします。
0:29:52	106 ページ、表 3-3-4 の方に評価対象構造物の抽出結果をそれぞれ各構造物においてまとめております。
0:30:02	評価対象断面に対して直交する荷重の有無、それから荷重の有無の影響からAへ、
0:30:07	水平 2 方向及び鉛直地震力の組み合わせによる影響評価の有無を記載しております。1 ページ 107 ページをお願いします。
0:30:19	抽出の結果、線状構造物につきましては水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせによる影響評価は実施しない整理としておりますが、屋外配管ダクトタービン建物、呉から排気塔につきましては、
0:30:33	オカ配管のタービン建物、から放水槽を、の町場の一部といって改修が処理がございますので 3 次元的な応答が発生することが予測されるため、製品方向による評価を実施する方針としております。
0:30:48	通し番号の 139 ページをお願いします。
0:31:02	こちらにつきましては第 1 ベントフィルタ格納槽それから、
0:31:07	低圧注水ポンプ格納槽の評価結果を記載しておりますが、前回までの記載はですね、安全対策工事に伴う掘削を反映した結果ではなかったもので今回掘削を反映した。
0:31:20	結果に更新しておりますすべて協議会を下回ることを確認しております。
0:31:26	通し番号の 149 ページをお願いします。
0:31:35	149 ページの方ですが、今回 1 号取水槽の西縁に方向の影響評価の結果を追記しております。内容としましては一応値追記しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:48	つきましては、全額東部底盤並びに越後主事宗喜多蘇武駅については部材の補強を目的として全額ダクト部に充填コンクリートに対する対策を実施するため、
0:31:59	一般的な箱型構造物と構造的特徴が異なっております。また対策を実施することにより内腔部分を充填コンクリートで閉塞するため水平 2 方向及び鉛直方向地震力の影響をにつきましては、
0:32:14	全額ダクト部、充填コンクリートを対象とし、いたします。
0:32:19	評価方法としましては、せん断破壊、
0:32:22	及び引張破壊に対する局長安全係数を用いた調査において最も厳しい教育安全係数に対し水平 2 方向の地震力を考慮した基準とし、基準値としまして、
0:32:34	2A以上であることを確認する方針としております。
0:32:37	通しページの 151 ページお願いします。
0:32:44	151 ページ、表 3-3-18、それから表 3-3-19 の方に評価結果を記載しております。全額頭部充填部、コンクリートのせん断破壊及び引張破壊に対する局所安全係数は基準値を上回ることを確認しております。
0:33:02	通しページの 161 ページ、お願いします。
0:33:11	こちらは前回ツジとなっておりました奥秋安楽とタービン建物から排気塔の水平 2 方向による評価結果を記載しております。すべての調査においてそれぞれ影響限界を下回ることを確認しております。
0:33:25	通しページの 175 ページお願いします。
0:33:35	こちらにつきましては勝カセ田井シンボダイエーの評価についての記載となっております。今回評価部位の追加、それから評価対象断面として BB 断面を追加しており図表等も更新しております。
0:33:49	通しページの 178 ページ、お願いします。
0:33:56	178 ページ表 3-3-38A2B 駄目の結果を追加しております。それぞれ基準値 0.7 以下であることを確認いたします。それぞれ非常にあることを確認しております。
0:34:11	どっちページの 219 ページお願いします。
0:34:21	こちらの表につきましては防波壁の評価結果を示しておりますが、こちら地震動 S_s -FII プラスプラスの照査値について、所達の切り上げの関係から、もともと 0.22E から 0.23 に適正化しております。
0:34:38	通しページの 220 ページをお願いします。
0:34:43	220 ページの上段一つ目及び二つ目の表に防波壁鋼管杭に対する水平 2 方向及び情報地震力を考慮した表調査結果を示しておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:54	こちらの教授方向断面の値につきまして今回、風荷重を考慮した数値に適正化しております。結果としましては前回と同様、照査値 1 以下となり修正。
0:35:06	による影響はないことを確認しております。説明は以上となります。
0:35:14	はい。規制庁吉良です。それでは三つ目のパートナー、水平 2 方向関係について確認する点がある方お願いします。
0:35:30	規制庁の服部です。
0:35:33	まず資料ナンバー5-1 ページをお願いします。
0:35:41	詳細設計申し送り事項ナンバー48 についてです。
0:35:45	コメント内容に対する回答について、これまで何回かヒアリングで説明してきた内容と、本日説明してきた内容で、
0:35:57	波及的影響に対する評価というのは確認ができたと考えています。
0:36:06	48 番について、規制庁内で何か意見のある方おられればお願いします。
0:36:15	よろしいでしょうか。
0:36:17	そうしましたら、詳細設計申し送り事項ナンバー48 については、分類となりますので、これは
0:36:28	承知をしたということで対応をお願いしたいと思いますよろしいでしょうか。
0:36:41	はい。中国電力の佐野です。ご回答ありがとうございます。承知いたしました。
0:36:47	規制庁の服部です。
0:36:49	それと、主要ナンバー6 の、
0:36:54	7 ページをお願いします。
0:36:57	これはちょっとしばらく見ていなかったんで、念のために少し確認したいんですけれども、
0:37:04	今回、
0:37:07	等屋外配管ダクト括弧排気塔というのを追加されたということになっています。
0:37:14	私の認識では、この屋外配管ダクトカッコ排気塔というのは、松葉勝真壁を有さないボックス状の構築物ということで、
0:37:26	いわゆる線状構造物。
0:37:29	に近い、
0:37:31	距離は短いんですけど、
0:37:32	そういうような構造だというふうに認識をしていました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:38	ここで確認なんですけれども、
0:37:41	この 7 ページの表 3-1-4 の(1)を見ると、
0:37:47	壁
0:37:50	地下部の壁とか、
0:37:52	基礎の矩形のところ、用というふうな評価になっている。
0:38:00	という認識をしています。
0:38:03	で、この日個々の部位については、
0:38:07	一旦ここで抽出をされた上で、
0:38:11	この後の方で、
0:38:13	最終的にはスクリーニングアウトされてるのか。
0:38:16	それとも、水平 2 方向に対する評価を行っているのか。
0:38:21	この点について説明をお願いしますどうぞ。
0:38:28	はい。中国電力の秦です。屋外配管ダクト括弧廃棄等につきましては、 まず、整理としましては藤さん。
0:38:38	資料 6 の 3 ページをお願いします。
0:38:46	ここで注記を振ってますけども、
0:38:49	屋外配管ダクト括弧排気塔は平気棟基礎上に設置されており排気塔基礎と一体構造であることから、
0:38:56	建物構築物に分類すると、ということで、建物構築物にまず分類しております。
0:39:05	それからですねちょっと構造についてなんですけども、当間ダクトということで、線状構造物のように見受けられるんですけれども、
0:39:15	資料 7 を、
0:39:18	お願いします。
0:39:22	資料 7 の、
0:39:24	273 ページをお願いします。
0:39:33	こちら別紙 1 ということで、
0:39:37	水平 2 方向の影響がある部位を抽出した表になりますけれども、
0:39:42	こちらですね屋外iPad括弧排気塔を青いハッチングで記載しておりますけれども、
0:39:50	左側の津名つま面 2 を見ていただきますと、トーシンの木曾がありまして、通常のダクトのような構造ではなくてですねどちらかというと
0:40:03	妻壁があるような構造になっております。
0:40:08	それから衛藤、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:10	このオクあかんダクトのアノ北川ニワですね報道資料があって、こちら動圧を受ける壁ということで
0:40:20	こちら面外から影響があるということで、オカベを抽出をしております。
0:40:27	で、今度、資料、
0:40:29	6の方に戻っていただきまして、
0:40:32	すま最終的なスクリーニング結果につきましては、
0:40:38	と。
0:40:42	資料6の14ページですね。
0:40:45	をお願いします。
0:40:49	こちらですね、
0:40:52	寄贈ですね基礎と、①-1の基礎と、①-2地下の外壁ということで、
0:41:00	屋外配管ダクト括弧排気塔を、
0:41:03	ということで、屋外タンク通じておりますけれども、こちら代表部位としましては、土岐層につきましては原子炉建物、それから、壁につきましては燃料プールを代表構造物として評価を2方向の評価を実施しておりますので、
0:41:20	2方向の評価の方は実施しておりません。以上です。
0:41:34	規制庁のハットリです。
0:41:37	少し確認したいんですけど、
0:41:39	この14ページの方で代表することなんですけど、構造としては代表できるかなあと思うんですが、
0:41:46	これは何でしたっけ。
0:41:49	代表できるというのは、どのような理由で代表できるというふうに、
0:41:56	菅、中国電力は考えてるんでしょうか。
0:42:16	中国電力の宮原です。こちらについては先ほどと同じ
0:42:23	資料6番の14ページのとですね代表評価部位の選定の表の3-1アノ以上右端になるんですが、
0:42:35	書いてある通りでして、基本的に建物の規模が比較的大きくて、
0:42:41	重要な設備を多く内包しているだとか、あと上部に床等の拘束がなく、
0:42:49	面外荷重等が作用すると比較的厳しい評価になりそうな部分というところで、代表として選定をしております。以上です。
0:42:59	規制庁の服部です。
0:43:07	構造は同じような構造。
0:43:09	ということでは理解をしています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:12	ただ、MaaS作用する荷重とカー中に入っている鉄筋は、
0:43:17	それぞれ
0:43:22	何でしたっけ、施設の規模とかそういうのによって変わってくるんだと思います。
0:43:28	ただ一方結局、どいづれの施設も、
0:43:34	同じような調査値、
0:43:38	がもともと出ていければ、
0:43:43	相対的に、
0:43:45	同じような
0:43:48	ヒ素表ソース、小冊子になるんだというような理由で、
0:43:55	代表させてるというふうに理解すればよろしいでしょうか。
0:44:05	中国電力の秦です。もうちょっと、
0:44:09	選定のプロセスについて補足しますと、
0:44:14	資料No.7をお願いします。
0:44:20	こちらの通しページいきますと、302 ページです。
0:44:31	こちら 3 ポツとして代表部位の選定プロセスということで、
0:44:36	それぞれ基礎だとか、壁、先ほど、
0:44:41	ワダイマセ高部とか木曾の選定のプロセスを記載しておりますけどもこれ先行と同じような考え方で抽出をしております、
0:44:52	まず、建物規模はの話とあと、重要な設備を多く内包しているとかですね、そういった留意すべき。
0:45:04	特徴を有しているっていう。木曾に関しては、原子炉建物を代表としておりますと、表の 3-1 には地層の規模について平面形状ということで記載をしております。
0:45:17	それから 3、1 の下の 3 ポツ 3 の壁につきましては、
0:45:22	こちらは面外過剰影響が考えられる部位につきましては、
0:45:29	同じようなことですが、施設の重要性だとか建物規模、構造特性、
0:45:34	それから上部に床等の拘束はなくて年外荷重、
0:45:39	が作用するということで、燃料プールの壁を代表としています。
0:45:44	そういった選定プロセスを経て、代表部位を選定しております。以上です。
0:45:53	規制庁のハツリですはいわかりました。
0:45:56	構造は似ていて、規模とか、そこら重要施設が入ってるかとか、
0:46:03	この規模とかそういう中には荷重の
0:46:07	話だとか、構造的なものの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:12	例えば協力の方でやっていけば、それなりの安全率が出ていて、大体、
0:46:18	相対的に、
0:46:20	代表できるんだなということで大体理解をし私としてはそういうふうな理解をしました。中国電力の考えとしてはこの規模なり、重要構造、重要性とかを踏まえて、
0:46:34	ここのプロセスのところで代表性を選定したということで、
0:46:39	確認をし、しましたなので、今の点についてはわかりました。
0:46:49	続いて、資料の、
0:46:55	7 の、
0:46:57	152 ページをお願いします。
0:47:07	これも前、今まで説明を受けたと思うんですけどももう一度だけ念のために確認をさせてください。ここは取水槽の例が載っていますけれども、
0:47:17	3次元構造解析で耐震評価を行っている箱型構造物ということで、
0:47:23	この水平にほぼ差異化というのは、
0:47:27	結局あれです。
0:47:28	だっけ。
0:47:29	それぞれの方向の荷重を、
0:47:32	100%100%、作用させて、
0:47:37	それを重ね合わせて、
0:47:40	ルートに対して評価をしてるんですけどっけ。
0:47:47	はい中国電力です。
0:47:49	2方向の時刻ですけれども、弱軸となる着軸断面で一応方向で検討した結果で最も厳しくなった時刻に対して、もう一方の方向でも同時刻の荷重を、
0:48:01	組み合わせると同時にサイトウさせるという方法で評価をしております。以上です。
0:48:06	規制庁の服部です同時刻の。
0:48:09	荷重を100%100%、
0:48:13	やってるということでよろしいですか。
0:48:16	はい中国電力です。その通りです。以上です。
0:48:20	規制庁の服部ですわかりました。
0:48:22	それで評価としては、
0:48:25	ルート2で評価してるんですけどっけ。
0:48:33	はい、中国電力イワコケです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:35	3次元のモデルに2方向の荷重を静的に与えて、評価をしておりますので、その発生値と許容値に対してそのまま√二倍とカワセですねそのままの値で評価をしております。以上です。
0:48:49	市長の服部笹井、わかりました。
0:48:52	多分そう、そうですね時刻がずれてるので、
0:48:56	それほど極端に、
0:48:59	大きくならないということで100%100%で、通常の許容限界に対して評価一方向の強限界と同じ表現かで評価しているということで、
0:49:10	ちょっと念のために確認だけさせていただきました。
0:49:13	私からは以上です。
0:49:20	はい、規制庁チギラズ他、
0:49:22	何かありますか。
0:49:24	よろしいでしょうか。
0:49:26	はい。
0:49:27	それでは三つ目のパートの水平2方向についてはの確認については以上といたします。それでは次の四つ目のパートについて説明をお願いします。
0:49:46	すいません。
0:49:49	はい。中国電力のサービス。
0:49:51	それでは地盤の強い性能に関しましてご説明をさせていただきます。
0:49:55	まず資料番号8、回答整理表をお願いいたします。
0:50:03	はい回答整理表の1ページになります。2行目、モシュ方式事項No.8485となります。
0:50:11	今は切る事になります。
0:50:13	液状化影響評価の対象施設の選定方針について設置変更許可と工事計画認可の審査範囲を区別し説明することということで
0:50:21	先日ですね2月7日の審査会合におきまして衛藤、
0:50:25	関口勝様に基づき解析手法の選定フローのところをご説明させていただきましたので、今回こちらの方へ説明済みというふうにさせていただきたいと思っております。
0:50:36	続きまして資料番号9、
0:50:40	基本シマツジ性の影響方針をお願いいたします。
0:50:49	こちらにつきましては
0:50:51	これまでの説明内容を踏まえて

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:54	直接ベッショの説明内容踏まえて反映して参りましたので、反映して参りました。
0:50:59	基本はすでにご説明さしていただいておりますのでちょっと抜粋して説明させていただきます。
0:51:05	2 ページお願いいたします。
0:51:10	はい。
0:51:11	一番下のパラグラフになります。
0:51:14	防波壁逆T擁壁の改良地盤につきましては、設置変更許可段階申し送り事項を踏まえまして、設置援護許可段階で設定したPS検層等に基づく改良地盤の物性値、
0:51:25	が確保されるよう、新たに設定する入り方で地盤改良することとし、主な配慮試験結果を踏まえ、管理目標値を上回る解析用物性長として設定する旨を記載いたしました。
0:51:39	当然こちらにつきましちょっと補足説明資料の方にまだ反映ができていないので補足説明書の方にも反映したいと思っております。
0:51:46	続きまして 11 ページ、お願いいたします。
0:51:55	11 ページです。こちらにつきましては補足説明資料でご説明した通り、設置変更許可申請書に記載されてない物性値を記載しております。
0:52:05	今日ですね後ろの方に
0:52:07	13 ページ以降から表がございましてちょっとこちら有効警察の統一であったりちょっと一部碎石のせん断係数をですね、数値の誤りがございましてそちらの方を修正しております。
0:52:20	大変失礼いたしました。
0:52:22	34 ページお願いいたします。
0:52:34	はい。34 ページになります。
0:52:37	耐震評価における地下水の設定方針となります。
0:52:41	こちらですね、初回提出した際には審査中であった先行サイトの記載を参考に、浸透流解析モデル等の詳細に記載をしておりましたが、その先行サイトの最終補正の資料を確認いたしまして、
0:52:55	こちらと同程度に少しまとめたような記載の方に修正をいたしております。
0:53:00	また中ほどになります。
0:53:03	さらにというところにありますけども、安全対策工事に伴う掘削による影響を確認することといたしまして、後程補足説明説明資料 2 で、詳細をご説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:14	また以降につきましては体裁の修正となりますので説明は割愛させていただきます。
0:53:19	また資料番号 10 の比較表につきましても今回の基本方針の反映に伴い修正をしておりますので、こちらの説明の方は割愛をさせていただきます。
0:53:29	それでは、説明者かわります。
0:53:36	中国電力のムラシゲです。それでは地盤の支持性能の基本方針の地下水位の設定方針でも説明をさせていただきました。
0:53:44	安全対策工事に伴う掘削による影響確認についてご説明をさせていただきます。
0:53:50	資料番号 11。
0:53:52	26 ページをお願いいたします。
0:53:58	こちらに耐震評価における設計地下水設定方針を記載してございますが、こちらが一番下のパラグラフに、
0:54:05	安全対策工事に伴う掘削による建物構築物の設計用圧力及び屋外重要土木構造物等の設計地下水に対する影響確認について、
0:54:15	参考資料 1 に示す旨を記載しております。
0:54:21	続きまして、昨年 10 ページをお願いいたします。
0:54:27	こちらの参考資料 1 に、掘削による設計用圧力及び設計地下水への影響確認について記載してございます。
0:54:35	建物構築物についてはよう圧力の低減を目的とした背地下水位低下設備に期待しており、掘削箇所の掘削下端レベルに対してドレーンの設置位置が十分低いこと。
0:54:49	屋外重要土木構造物については保守的に地表面に、
0:54:54	地下水位を設定していることから、影響は軽微と考えておりますが、
0:54:58	掘削箇所を考慮した浸透流解析を実施し、影響確認を行います。
0:55:04	171 ページをお願いいたします。
0:55:08	2.1 に、影響確認方法を記載してございますが、
0:55:12	掘削箇所は考慮した 3 次元浸透流解析を実施し、設計用圧力及び設計地下水位がを超えないことを確認いたします。
0:55:21	また、
0:55:23	斜面の滑り安定性評価において設定している地下水位が掘削箇所を考慮した 3 次元浸透流解析を踏まえても保守的な設定であることを確認いたします。
0:55:34	2.2 から、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:36	掘削前の予測解析モデルから変更した点を記載してございます。
0:55:41	掘削範囲については、透水係数を著しく高い値として設定し、楠田 9ヶ所周辺の地下水位と一様とできる条件としてございます。
0:55:53	また、
0:55:54	図の 2-2 に、紫色、それから水色で範囲をお示しておりますが、掘削箇所の流動場に影響を与える可能性がある改良地盤、埋め戻しコンクリートをモデル化いたしました。
0:56:07	あわせて、掘削に伴い、周囲が岩盤、改良地盤、埋戻しコンクリート及びコンク構造物で囲まれる暗渠排水管習慣について、管理としてモデル化しております。
0:56:20	175 ページをお願いいたします。
0:56:23	こちらからは予測解析の結果でございますが、
0:56:27	図の 3-1 に、建物構築物の設計圧力NISAの設定に参照する地下水分布の掘削 9.5 の学校、
0:56:36	図の 3-2、屋外重要土木構造物の
0:56:40	設計地下水の設定に参照する地下水部の分布の掘削前後の比較をお示してございます。
0:56:48	177 ページをお願いいたします。
0:56:53	建物構築物の掘削前後の予測解析結果及び設計圧力をお示してございます。
0:57:00	掘削後の予測解析結果は、掘削前と同程度となっております、
0:57:05	石油を圧力を下回っており、掘削による設計圧力への影響はないことを確認いたしました。
0:57:14	178 ページをお願いいたします。
0:57:18	屋外重要土木構造物の掘削前後の予測解析結果及び、設計地下水をお示してございます。
0:57:26	掘削後の予測解析結果は、掘削前と同程度で設計地下水を下回っており、掘削による設計地下水への影響はないことを確認し、いたしました。
0:57:38	180 ページをお願いいたします。
0:57:43	滑り安定性におい、滑り安定性評価において設定したせえ地下水及び三次元浸透流解析による解析通院の掘削前後の比較をお示してございます。
0:57:54	掘削後の滑り安定性評価において設定した。
0:57:58	地下水は、3次元浸透流解析による地下水位を上回っており、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:05	掘削箇所を考慮した3次元浸透流解析を踏まえても、保守的な設定であることを確認いたしました。
0:58:13	地盤の支持性能に関しましては、以上で説明を終わります。
0:58:20	はい。
0:58:21	規制庁、日浦です。それでは四つ目のパートの地盤の支持性能について、
0:58:28	資料の中で確認する点がある方、お願いします。
0:58:38	規制庁の服部です。私からちょっと何点か確認をさせてください。
0:58:43	まず⑨の資料をお願いします。
0:58:51	11ページをお願いします。
0:58:55	これは少し確認をさせていただきたいんですけども、
0:58:58	3ポツ2の上から、
0:59:02	5行目。
0:59:04	この記載の中2、
0:59:07	1、第1層は、岩盤に加えて、
0:59:13	同程度のS波速度である埋戻動砂れき層、
0:59:18	埋め戻しとカッコ年制度及び海底堆積物風化願等も含まれているという記載があるんですけど。
0:59:29	海底堆積物と深川については後ろの方、
0:59:33	補足の方できちっと説明されてはいたということで理解をしてるんですが、
0:59:38	この埋め戻し度とカーそういうものに対して、
0:59:43	岩盤と同程度の埋め戻し度があって、
0:59:48	それは岩盤の第1ソウノ。
0:59:52	解析を物性値を使っている。
0:59:57	ところがある。
0:59:59	ということでしょうか。
1:00:01	この同程度の、
1:00:03	という。
1:00:05	埋戻し動について少し説明をお願いします。
1:00:12	はい。中国電力の伊佐です。
1:00:15	いえ、こちら、近藤程度というところがございますは
1:00:20	すみません、ページでいきますと、
1:00:26	10、17ページを少し見ていただきますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:33	こちら、表 3-11 の(1)に岩盤の絵と物性値記載しておりまして、第一層とデブ、S波速度 250 メーターパーセクってところを記載しております。
1:00:45	すいません、ちょっとまた 11 ページ戻っていただきまして、
1:00:49	先ほどの
1:00:52	11 ページですけども先ほどのえさ速度と同程度で、
1:00:56	PS検層としては出てくる、メモの指導であったりそういったものについては地質断面図上では、第 1 層というふうに少し包括した記載をしております。
1:01:07	そして少し最後の行になりますけども、地質断面図を示す台数のうち岩盤につきましてはその物性値を設定いたしまして、埋戻動等、当然粘性度そういった書いてますけども、
1:01:21	それではそれぞれカセ解析物性値後であれば、当初の物性値を設定するという件事しております。
1:01:29	はい、以上になります。
1:01:32	規制庁の服部です。
1:01:37	この、ここにある記載ワー、
1:01:40	埋め戻しの中にわあ、
1:01:43	丸、第 1 層の岩盤に相当するような、
1:01:47	S波速度の箇所もあるけど、
1:01:51	解析を物性値としては、そういう埋め戻し予想とか、
1:01:56	砂れき層も含めて、
1:01:59	例えば、6 ページにあるような、
1:02:04	薄井次、
1:02:06	を使っている、
1:02:09	埋め戻し度に対して、
1:02:12	1 ソウノ岩盤の物性値を使ってるものは、ところはないという理解でよろしいですか。
1:02:21	はい。中国電力の伊佐ですはいそのご理解で結構でございます。
1:02:25	規制庁の服部ですわかりました。
1:02:27	何となく
1:02:29	これを見たときに、上本志田にも 2 種類あって、
1:02:34	岩盤の椅子物性値を使ってるところと、その日さっきの 6 ページの埋め戻しの物性値って書いてあるところの物性値を使っている。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:44	二つのものが混在してるのかなと思ったんですがそうではないということを確認をした、確認をさせていただきました。
1:02:54	それと 12 ページをお願いします。
1:02:59	これも少し確認なんですけど、
1:03:02	その他の解析を物性値として、
1:03:06	例えばSTACYとか被覆石の物性値が、
1:03:10	考え方も含めて干す、補足説明資料のほうに記載があるんですけど、
1:03:16	この物性値が一、補足説明資料やあ、この説明資料の中の、
1:03:22	にこの記載されてない。
1:03:25	補足説明資料の表ですね、一覧表の中とか、説明書の中に、
1:03:33	全部添付の説明書の中に記載されてないというのは、
1:03:38	なぜなのでしょう。
1:03:44	はい。中国電力の伊佐です。すいません。
1:03:47	こちら、ステージ等につきましては 11 ページの方で、有効解析に用いる解析を物性時の中でちょっとご説明しております。
1:03:58	なるほど。はい。
1:04:01	の位置付けでご説明しております。
1:04:06	あとすみませんその他の方になんじゃない、ない、その区分は、
1:04:11	どういうことかという少しすいません。
1:04:14	ダムのないんですけども、一つ、
1:04:17	停止の方につきましては基本防波壁等で使っております、有効解析の方で、出資してる物性値ありますのでその 3.2. 1 の方の、行っております。
1:04:27	はいそうです。説明はちょっとあります。
1:04:30	規制庁の服部です。
1:04:33	STACYとか被覆、被覆石について、
1:04:37	影響評価等で使っていれば、補足説明資料の方で説明があってもいいと思うんですけども、
1:04:45	節、添付資料いわゆる説明書の中で、
1:04:49	の耐震評価の中で使っているのであれば、
1:04:53	物性値というのは、
1:04:56	説明書NOん中に記載されていない等、
1:05:00	いけないと思うんですが、
1:05:02	その点についてはいかがでしょう。
1:05:05	はい。中国電力の磯田です。すいません。14 ページお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:15	14 ページのところですね木曾STACY及び福土というところで物性値のほうはご説明をさせていただいております。
1:05:23	ちょっと先ほどの前段の文章のところちょっとと、
1:05:28	特記してるようなものだということでございます。
1:05:31	以上です。
1:05:33	規制庁の服部です。大変申し訳ございませんちょっとここを見落としていましたね。
1:05:41	きちんとここに書いてあるということで理解をしました。
1:05:45	これは少し私の、
1:05:47	資料の読み込みがまさか原因だったということですいませんでした。
1:06:01	規制庁のハツリです。あと、同じ。
1:06:05	9 ページの、
1:06:08	⑨の資料の、
1:06:10	59 ページお願いします。
1:06:13	これも念のための確認ですけど、
1:06:17	ここに書いてある、
1:06:20	59 ページにある書いてあることは、
1:06:30	地震音解析。
1:06:33	に用いる物性値。
1:06:36	いわゆる
1:06:37	何だろう、構造解析。
1:06:40	構造計算を行うときの事象と解析に用いる物性値というのは、
1:06:45	あくまでも、
1:06:46	3.1 章に示された物性値、例えば動せん断弾性係数とかそういうものは、ものを使っていて、
1:06:54	この表 7-1 と 7-2 で使ってる物性値は、
1:07:00	あくまでも、
1:07:01	入力地震動を、
1:07:05	算定するためだけの物性値。
1:07:09	なんだ。
1:07:10	というふうにここを読んで理解したんですけど。
1:07:13	その理解は正しいですか。
1:07:19	はい。中国電力財津はい。
1:07:22	ご回答ございましてこちら 7 章につきましては入力地震動というところで記載をしているが伝書ですね、となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:32	これ
1:07:34	構造解析で用いている2次元FEMモデル等につきましては、先ほどご説明さしてもらいました3章の方のメッセージを使っています。ただ岩盤の分析につきましては基本
1:07:46	同じものとなっております。
1:07:49	以上です。
1:07:52	はい。規制庁の服部です。基本同じものになっているという説明を受けたんですがちょっと
1:08:00	岩盤の物性値については4ページとか5ページに書いてあって、
1:08:04	これはかなり、その各速度層に対して、
1:08:08	岩級がんアートがん集でこうバラバラになっていたの、
1:08:16	ちょっとわかりにくかったんですけど、
1:08:23	例えば表7-1の V_p と V_s とポアソン比からせん断弾性係数出るんですけど、
1:08:30	そのせん断弾性係数は、
1:08:33	5ページとか4ページの小野瀬、
1:08:38	せん断弾性係数が4ページは、(3)の2、表3-2参照って書いてあるんですけど、ここに書いてあるものと同じになるってことなんですか。
1:08:49	すいません。中国電力の磯ですすいません説明が少し省略しまして17ページを見ていただけたらと思います。
1:09:05	17ページの表3-11の(1)であったり18ページの表3-11発行にだったりこちらですね、岩盤、地震応答解析で用いる岩盤の物理ということで、
1:09:18	記載をしております。以上です。
1:09:22	規制庁の服部ですわかりました草加900。
1:09:27	1600
1:09:29	1950
1:09:31	2000、一緒ですね。
1:09:35	大変失礼しました。ここに書いてあるものを使っている。
1:09:39	そういうことですね。
1:09:41	で、基本一緒だということで、
1:09:44	理解をしました。
1:09:47	はい。
1:09:49	それは理解しました。
1:09:51	あと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:54	補足説明資料の 10、ごめんなさい、11 番の資料お願いします。
1:10:37	すいません。中国電力の伊佐です。すいませんちょっと今音声が届いていないかと思われるかもしれません。すいません。すいません。ごめんなさいちょっと、
1:10:48	ページを探していてごめんなさい。
1:10:51	少し黙ってしまいましたが、
1:10:54	ちょっとこの補足説明資料の、
1:10:58	この表、
1:11:00	90 ページとか、
1:11:02	91 ページとかここら辺に表があるんですけど、
1:11:06	物性値の表があるんですけど、
1:11:09	ここ
1:11:10	この補足説明資料の中、この表の中でさっきのステージとか、
1:11:16	基礎さあ被覆イシイの物性値が書いてあるところってあります下、どこに書いてあったんですか。
1:11:27	はい。すいません中国電力の伊佐です。表自体は 89 ページになります。
1:11:40	すいません。説明等につきましてはちょっと 87 ページの方見ていただきますと、各財タシロソウノ等、
1:11:51	設定根拠ということをちょっと表の方をつけさせてもらいまして、例えば一つ停止福土につきましては、参考書 11 の方で、その説明をしているというところを記載しております。以上です。
1:12:04	規制庁の服部ですはいすいません確認しました。ここも私が少し見落とししてたところだと思います。
1:12:10	あと 171 ページお願いします。
1:12:16	ここで掘削、
1:12:23	後は、
1:12:27	言ってもいいのかな、掘削後の
1:12:32	評価ということ
1:12:34	掘削範囲の透水性係数を、
1:12:38	止め戻しの透水性係数の 1000 倍相当とすることによって掘削、
1:12:44	の影響を評価するようなことが下へというふうに書いてあって、それはそれでいいのかなと思うんですけど。
1:12:51	この 171 ページの図 2 の一井のこの、
1:12:58	地下水線を見ると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:00	通常ここが掘削されている等、
1:13:04	地下水で掘削範囲の中は、底面に地下水が来るので、
1:13:09	この動水勾配というか動水栓っていうのは、
1:13:13	あくまでも
1:13:16	掘削範囲の底面にすりつくような形。
1:13:20	2、実際はなると思うんですね。
1:13:23	ただ実際はここで書いてあるのは
1:13:28	そういうふうなイメージ図になっていないということなんですけど。
1:13:33	これはどのようなものをイメージした図なんでしょうか。
1:13:42	中国電力のムラシゲですと、171 ページにお示しておりますのは今回の解析モデルの中でですねえと透水係数が著しく高くした場合の地下水点を記載をさせていただきます。
1:13:55	先ほどおっしゃっていただいた通りですね実際に掘削をしておりますので周囲の地下水というのは実際には下がってくるかと思われるんですけども、
1:14:07	今回の解析のモデルではですね下がるとですね周りの構造物の水位等も下げてしまいますので、こちらをですね、
1:14:16	水位を下げないように、この掘削の範囲内に水がたまるような反映をモデル化としてございます。
1:14:24	以上です。
1:14:27	規制庁のハットリです。
1:14:29	今の説明だと、
1:14:31	あれですかね、
1:14:34	どちらかというと保守的な評価になるような、モデル化なり
1:14:44	評価条件を設定したというり意味でとらえてよろしいですか。
1:14:51	中国電力のムラシゲです。
1:14:54	はい。実際には掘削箇所にはですね水が基本的にたまらないように仮設ポンプ等でポンプアップをいたしますので、ご指摘いただいた通り地下水周りを掘削面に結びつくような形でですね本来は地下水分布しますけれども、
1:15:10	かなり保守的な条件として今回モデル化をしております。以上です。
1:15:15	規制庁の服部です。わかりました。
1:15:17	それで、
1:15:19	その話がこの 175 ページと 176 ページに飛ぶんですけど、
1:15:26	掘削前と掘削後で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:29	EL-10メートル、例えば175ページだとEL-10メートルの範囲が少し狭くなったりしていたりとか、
1:15:39	176ページは特にわからないんですけど、
1:15:42	あまり掘削の影響がないと思われるところを、要するに、
1:15:48	ちょうど真ん中の上ぐらいに、
1:15:52	半島みたいにちょっと突き出てる場所があるんですけど、
1:15:56	掘削前にはそれがなかったということで、
1:15:59	こういうその掘削の影響があまりないさそうに思えるような範囲にこういうものがで、こういう結果が出てるとするのは、
1:16:07	何か理由として考察とかされてますか。
1:16:13	中国電力のムラシゲです。衛藤先ほど、
1:16:17	言っていた176ページの半島のような部分ですけども、こちら は一つ掘削をした。
1:16:24	範囲に合わせてですねと海洋地盤と埋戻しコンクリートをモデル化して ございます。それによりましてですねこの半島の部分の左側にこの埋め 戻しコンクリートが位置をしておりますけれどもそこで
1:16:41	水野。
1:16:44	に向かってと、北から、それから地下水の高いEL10メートルの線と言 いますと、
1:16:53	何。
1:16:54	江藤さん、オク。
1:16:58	北東側にですね向かって水が流れていくようなラインが考えられるんで すけども、そういったものがちょっとせきとめてしまうような範囲も、
1:17:07	埋め戻しコンクリートでございますのでそういったところですねこのよ うな影響が出ているということを考えてございます。
1:17:14	以上です。
1:17:16	規制庁の服部です。ということは、
1:17:18	多田丹新居掘削箇所を、
1:17:22	の範囲を統制係数を下げただけじゃなくって、
1:17:27	その掘削に伴う、その地盤の変状というか、改変というか、
1:17:33	そういつて、その表現が正しいのかわからないんですけど、
1:17:37	コンクリートで埋めたりだとか、地盤改良したりだとか、そういうことも、
1:17:43	合わせてこの掘削後の浸透流解析のモデル。
1:17:48	ニワ組み込んだという理解でよろしいですかね。
1:17:56	はい。中国電力のムラシゲです。173ページに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:02	お示してございますけれども、こちらにですね
1:18:07	改良地盤、埋戻コンクリート等を記載してございます。はい、期待してございますこういったものですね流動場に影響を与えると考えられるため、今回の
1:18:17	影響検討につきましてはモデル化をしてございます。
1:18:21	以上です。
1:18:23	規制庁の服部ですわかりました。
1:18:25	そうすると175ページもそれらの影響も含めて、掘削したところの透水係数が下がってる影響も含めて、少しいえる3A-10メートルの
1:18:36	コンターが、掘削前と掘削後で少し変わっていると、ということで、解析上、何かおかしいということではないということでは理解をしました。
1:18:49	それと最後、
1:18:51	280ページお願いします。
1:19:06	規制庁の服部です。
1:19:09	これもちょっと念のための確認なんですけど、そのあとに書いてある木曾、281ページから2以降に書いてあるステーし、
1:19:19	規制値とかの妥当性についてっていう資料を読めば分かその通りだとは思ってるんですけど。
1:19:27	ヒアリングの中この粘着力の20kN%スケアメーター
1:19:34	これに対して見るか見ないかというような確認事実確認があったと思うんですけど。
1:19:40	これ結局、ちょっと忘れてしまったんで確認なんですけど、
1:19:44	最終的には、これは見るということではなくなったんですけど。
1:19:52	はい。
1:20:00	はい、中国電力の伊佐です。
1:20:03	はい。こちらですね特に防波壁の多重防護株式、
1:20:08	挨拶の後で議論させていただいたと思っております。
1:20:15	ここの今回ノジマ小さい記載しているこの木曾ステーション及び-1の物性値につきましては、本設計事例集等に基づきまして確認して、記載設定するというものとなっております。
1:20:27	ただですねこちらなかなか実際実験等で確認ができないというところがありまして、小さいSTACYの方が
1:20:38	杭がステージに刺さったような画面等につきましてはちょっとそのステージの影響を確認するために

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:49	ですね津波に木曾STACYの方は粘性度の物性値で代用したいというところで評価をさせていただいております。
1:20:58	以上です。
1:21:00	規制庁の服部ですそう。そうですそれちょっと聞こうと思ったんですけど。
1:21:05	何かソネ制度に代表しているところがあるという。
1:21:08	古藤は少し記憶にあって、なので影響がありそうなところは保守的に粘性度で評価するので、
1:21:18	これはもともと中国電力の考えで、
1:21:25	実機アノ試検討は強度挙績過ぎてできないんだけど、こういう事例集から持ってきた数字の20ΦFIRECコウノ20を使うということで、
1:21:37	確認したということで、そういう記憶が重い。
1:21:45	出されたので確認できましたということです。
1:21:49	ちょっと確認なんですけど結局その、
1:21:52	木曾清氏を粘性度として評価する、した。
1:21:57	ものは、
1:21:59	基本ケースとかにあるんでしたっけそれとも影響費。
1:22:04	影響検討ケースにしかないんでしたっけ。
1:22:08	はい。中国電力の伊佐です
1:22:11	SCATステージ及び副医師の方にですね久我佐藤の断面につきましては基本ケースとして、粘性度の物性値を設定しております。
1:22:21	以上です。
1:22:23	規制庁の服部です。
1:22:25	少し今確認できないんですけど、ということは、
1:22:30	おそらく今言ってるのは多重交換式擁壁のところだと思うんですけども、その資料の中では、
1:22:37	構造図としてはキソイステージになっていて、
1:22:41	そこを保守的に粘性度の物性値で評価評価してるっていうことが明確になるようになってるんでしょうか。
1:22:52	はい。中国電力の伊佐です。はい考え方につきましては
1:22:57	オオハシの資料の方に記載をしております数値のところ記載をしております。ちょっとこちらの脇田中鋼管ぐ式擁壁のですね、断面によって
1:23:09	違いまして、
1:23:12	敷地側にあるようなものにつきましては

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:16	ステージが少し距離があるというところで、今回この物性値を使ってございます。
1:23:20	で、少し海側に出し張り出したようなところの箇所についてはそのステージにこの杭が刺さっているというところで、営業が懸念されるというところ です粘性の物性値を代表するという記載、記載をしております
1:23:36	評価をし、実施しております。以上です。
1:23:39	規制庁のハトリですはいわかりました資料の中できちっと明確になってればそれはこれで結構だと思います。私からは以上です。
1:23:54	はい。規制庁の仲村です。私から何点かお願いします。まず資料の 9 ページ、9 番の、
1:24:05	34 ページなんですけども、
1:24:11	9 番の 34 ページですねで、
1:24:14	先ほどもここをちょっと説明されたところで文章中、ページの中ほどでさ らになってとこなんですけど、
1:24:23	これちょっと、いつも言うマスキングの逆のことなんですけども、
1:24:29	結論的に言うところをマスキングしなくて大丈夫なのかなってというのが気 になったって点です。で、
1:24:36	ちょっとあんまりこう、とりあえずはですね文章読むのやめときますけど も安全対策工事。
1:24:44	という話があつて、さらにの行の一番後半のところからですね、そういう 施設とかの、
1:24:53	話が出てきて、地下水よ。
1:24:56	に対する影響確認するとかって言ったらか何かそういう施設の近くに、
1:25:02	あるんじゃないかっていうのが何かいつもの。
1:25:06	類推されるような気がしたんですけどその辺は、
1:25:10	大丈夫ですかっていうのがまず 1 点ですけど、いかがですか。
1:25:23	はい。中国電力の高松です。ご指摘の趣旨は承知しました。ちょっとで すね掘削過少に伴うマスキングの関係はですね今仮設耐震構台とかで すね土どめとかですね、今回のこの件も含めてですね最終的な当初の 仕上がりに向けてですね、
1:25:41	ちょっと一連確認するようにはしておりますので、必要によってですね、 マスキングをさせていただいて最終仕上げをすとか、考えたいと思い ます。確認します。以上です。
1:25:52	はい。よろしく申し上げます。おそらくこれ、資料としてですね、さっき、そ ちらの方から、この文章読まれて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:02	説明されたってということもあるし、ヒアリング資料としてアップするとかっていう話になった時には、ちょっと差し替えとか、そういう話とかも出てくると思いますんでそれが、
1:26:14	決まりましたら、変更のところですね、
1:26:19	説明していただいて、的確に
1:26:23	修正ですね、できるようによろしくお願いします。
1:26:28	はい。中国電力の高松です。承知しました。
1:26:32	はい。あとすいません中国電力の方、ヨシツグでございます。すいません。少しだけ補足をさせていただき、
1:26:38	たいと思います。はい。今回3次元の浸透流解析で出しているすべての
1:26:45	掘削の影響のところについては、近傍等を考えずにすべての
1:26:53	地下水の設計地下水に影響があるかどうかということで、書いておりますので、その頭という整理で今回、ちょっとその部分は記載をさせていただいたんですが、先ほど高松が言いました通りマスクングについては最終確認をしておりますので、
1:27:05	また確認をさせていただいて、江藤修正等があれば対応させていただきたいと思います。
1:27:11	以上です。
1:27:13	はい。了解しましたよろしくお願いします。続いて、もう1点なんですけども、資料の、
1:27:21	11の方の、
1:27:24	172ページ3ページのところなんですけど、ちょっとまず確認させていただきたいのが、
1:27:31	172ページのところで、暗渠排水管とか集水管っていうのが出てくるんですけど、これ文章とか読んでると要するに、
1:27:42	改良地盤をすることで河内カセが図、流れが、
1:27:47	ダムアップされるってということで、そういう配水管っていうのを、安徽配水管とか入れてるってことなんですけど、ここへとかっていうのが多分今までこういう説明ってあんまりなかったんじゃないかなと思って、
1:28:02	これは改良地盤の一番底面のところに、排水管が入ってて、掘削されてるところにこう流れて、
1:28:15	地下水位を低下させますよってことですか。
1:28:20	まずそれについて、
1:28:21	お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:27	はい、中国電力のムラシゲです。
1:28:29	衛藤。
1:28:31	同じ、資料 11 のですね 181 ページを、
1:28:36	ご確認いただければと思います。
1:28:40	こちらの図の 4 の一井のですね、下の方の図の
1:28:46	あたりに改良地盤の中に、暗渠排水管ということで記載をしてございます。
1:28:51	こちらが暗渠排水管の①ということで改良地盤とですね岩盤のイダに、改良地盤の中ですけれども、そちらに設置する暗渠排水管でございます。
1:29:03	以上です。
1:29:05	はい。
1:29:07	規制庁の仲村です。排水管については理解しましたので、今ちょうどこの 181 ページに絵があるんでちょうどこれ使って確認しますけども、
1:29:19	その排水管があるけども、例えば掘削後の方の絵、絵で言うと、
1:29:25	紫色に塗ってるところの右がモリタのところですけど地下水っていうのをこう、
1:29:31	中央部、エレベーションでこれ 15 メーター盤のところ構成比に引かれてると思うんですけど、
1:29:39	解析とかそういう考慮する時っていうのはこの位置でして、暗渠排水管まで地下水が下がってるっていうことはないっていう認識でよろしいですか。
1:30:05	中国電力のムラシゲです。ご認識の通りでございます。以上です。
1:30:10	はい、わかりました。そうですね。はい。
1:30:14	保守的っていうか、地表付近に地下水を設定しているっていうんであれば、いいんですけど、単純にこの
1:30:23	173 ページの図の 2-2 を見たりすると、
1:30:28	ある程度、ちょっと寸法がよくわかんないですけど範囲を持ったところに、改良地盤というのがされてて、
1:30:36	排水管一本でこれで全部地下水が下がるのかなっていうのは非常に疑問なところがあったんで、ちょっと近すぎてどういう考え方かなというので確認しました。
1:30:48	で、これちなみにですけど、排水管の使用三田の使用ですねっていうようなのはどっかに書かれたりはしてるんですかね。
1:30:59	形とかを。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:01	本数とかですね。
1:31:06	中国電力のムラシゲです、図の 2-2 の中にですね
1:31:12	案件は主幹の丸一井であれば、江藤市様とですね形等を記載をさせていただきます。
1:31:20	暗渠排水管の 2 につきましては現在、材質等は検討中ですがけれども南側の、
1:31:26	暗渠排水管 1 とですね同等程度の形を、のものを入れることを考えてございます。以上です。
1:31:32	はい。規制庁中村です。図の 2-2 の凡例のところに記載されるてるってというのが、確認しました。理解しました。私からは以上です。
1:31:58	すいません規制庁の小林です。ちょっと今回の液状化でこれ全然違うんですけども、
1:32:03	資料の 9 番の、
1:32:07	このページだったっけな。
1:32:09	ちょっと杭の主ツジ力の考え方のところちょっとねムタ目に確認したいだけなんですけども。
1:32:16	あれ。
1:32:19	で 33 ページ目です。
1:32:21	4.3 で杭基礎の極限支持力度って書いてまして、
1:32:27	直接基礎だと道路教職が書いてる国だけは、
1:32:33	杭とMMRは基本的に強度試験結果にも足ウノか。
1:32:37	MMRもコンクリ標準仕様書ですけども、国は
1:32:41	基礎地盤の極限支持力度を用いるって書いてて、これは、こちらは
1:32:48	3027 ページ目の、
1:32:51	4.1 の、
1:32:53	このシールドを用いるという、まず解釈で間違いないかとそれを確認したかった一つと。
1:33:00	それと
1:33:02	ちょっと、これに他受の交換部品がじゃないかだと思うんですけども、これ引き抜く立杭に、
1:33:10	時に極力作用しても線周辺を無視しても、
1:33:15	センターにそれなりのある程度強い力
1:33:20	荷重が作用してるってことで、今日原子力を用いて評価するというような、そういうふうに取り上げればよろしいんでしょうちょっとこの辺のところが 2 行で文章で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:30	旅行に理解しづらかったんですけども、説明してください。
1:33:46	中国のSS少々お待ちくださいすいません。
1:34:35	はい桐谷です。すいませんお待たせいたしました。すいませんまず、
1:34:40	国の支局原子力を用いるという記載に関しましてはご理解の通りでございまして、27 ページのこの研修状況を使うというところでございます。
1:34:52	気つきにつきましてはおっしゃる通りのところござあるのとあともう一つですね一部引き抜きの所得評価をしているところもございますのでちょっとその記載数を
1:35:06	もって、少し適正化させていただければと思いますすいませんちょっと周面摩擦力をですね、引き抜きのときはちょっと見て確認してるというところもございますので、
1:35:15	ちょっとこちらの方記載をすいません、修正させていただけたらと思います。
1:35:22	割と一応ぜ1 オクマークイノウエに対する背評価の仕方をちょっともう少しわかりやすく説明していただきたいということと、今北地盤 4.1 を使っているのはちょっとその部分を使ってるところ。
1:35:36	ちょっと説明をわかりやすくお願いします。
1:35:42	はい。中国電力笹井承知いたしましたの表のうち、ひもづけるとかですねちょっとそういった記載の方、適正化させていただきたいと思います。以上です。
1:35:54	はい。
1:35:55	井清タテウダです。
1:35:59	よろしいですか。
1:36:00	すいませんちょっと私の方から、
1:36:04	資料 9-2 ページ。
1:36:08	の、一番最後のパラグラフで今回追加してもらった黄色のハッチングの部分なんですけど、
1:36:18	ここの記載。
1:36:21	ここで記載していることっていうのは、
1:36:25	その後ろの 6 ページの、
1:36:29	表の 3-3 の表。
1:36:32	等、
1:36:33	あと、
1:36:35	15 ページの、
1:36:37	表の 3-8 の(1)と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:43	17 ページですか、17 ページの 3 の表の 3-10。
1:36:50	関係を言っているんだと思うんですけど。
1:36:55	まず、その認識でいい、いいかっていうことなの。
1:37:01	改良地盤の①②③のことを、
1:37:04	こう言っていると。
1:37:05	いうことを、
1:37:07	認識でいいかっていうのをまず確認させてください。
1:37:14	はい。中央電力の江沢です。はい。こちらの文章ですね企業さんがおっしゃる通りで、海田シバ 1 から 3 のことについて記載をしております。設置変更許可段階でですね今していただき、
1:37:26	ページ 6 ページの表の 3-3 の物性字をこちらで評価したというところで、もうこれを、こちらですね管理目標値として、
1:37:37	確保することというところを
1:37:39	申し送りというさせていただいております。そちらホンダ
1:37:43	でも説明させていただきましたが、室内ご試験等を用いまして
1:37:48	表の様を超える値 15 ページですね、の
1:37:54	ところで音楽こん岩瀬改めて設定したというところの記載をしているところでございます。以上です。はい。
1:38:02	わかりました。で、この
1:38:07	今話だと 6 ページと、15 ページの関係っていうのは、ここの 2 ページに書かれている内容。
1:38:17	原則がないと、いうこと。
1:38:20	をまず確認したかったんですけど今の説明だとそういう、そういうことで、
1:38:26	そこがないということで、
1:38:28	そういう認識で大丈夫ですかね。
1:38:30	あと 17 ページのところの
1:38:34	あれですね、残留とか引っ張りについてはこれは
1:38:38	三陸事件等からですね。
1:38:40	求めてはいるんですけど、
1:38:44	そこも
1:38:46	津波配合試験結果を踏まえていうところで、
1:38:51	それで、
1:38:53	要件というかですねここで言ってることを満たしているとそういうふうに見えるでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:03	はい。張力ですはい。こちら、そごがないと思っております。
1:39:09	ただ 17 ページのものもし、同じく新、排出配合試験の方で、新たに設定した方の物性値となっております。以上です。はい、わかりました。
1:39:21	で、あとしつこくてあれなんすけど設定根拠についても 8 ページと、2223 ページの関係。
1:39:29	対応関係と、この 2 ページで言っていることは、そごがないというかここで言ってることを、
1:39:38	曳田表されてると、そういうふうに、
1:39:41	理解すればよろしいですか。
1:39:57	はい。中国電力の恩田です。
1:40:00	そうすると、基本です。
1:40:05	観点でちょっと見させていただきますと 8 ページの方では、イーピーエスの方でやったものということで記載しております。
1:40:19	すいません、22 ページになりますが、少しすいませんちょっと小さくて申し訳ないですけど一番イチカワカドイトガシ綱配合試験というところで記載をしております。そうはございません。
1:40:32	ちょっと
1:40:33	さっきの表、強度のところですね 23 ページのところにつきましては紙 1 から 3 年ツツミ配合試験とちょっとワードが、
1:40:42	少し抜けているのでちょっとそういった、
1:40:47	少し誤解を与えるような記載になっているのかなとちょっと思いましたのでちょっと市川さんにつきまして
1:40:53	言葉を入れさせていただけたら
1:40:57	入れさせていただきたいと思います。
1:41:00	以上です。はい、わかりました。規制についてははい。適正化していただいて内容としてはここで 2 ページで言っていることについて値も設定根拠もここで言っていること。
1:41:15	でやってますということで、理解をしました。
1:41:19	で、それは確認できたんですけど、あと、
1:41:24	もう 1 個ですね今点ぷーなんですけど、先ほどの説明では本設には今後追加しますというお話があったんですけど、もう 1 点
1:41:35	基本設計方針がわあ、
1:41:37	新居ですね。
1:41:38	ここ、基本設計方針地盤、四条の地盤については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:46	以前ですね確認は済んでいるものだと思うんですけど、ここの2ページの内容とですね、今、
1:41:56	基本設計方針で書いてる内容、
1:42:01	いえ、そこがないかっていう。
1:42:03	点については、そのあたり、そういう観点で
1:42:10	見て、
1:42:11	は、
1:42:12	確認がされてるのかどうかっていうのについて、説明ください。
1:42:22	はい。中国電力の伊佐です。基本設計方針につきましてちょっと今回こちら、記載を再
1:42:29	もし追加。
1:42:31	視察しましたので、ちょっとこちらを基本設計に反映するかどうかちょっと検討してるところでございます。
1:42:37	以上です。
1:42:39	はい、わかりました。基本的にそうですねこの内容、ちょっと
1:42:47	許可時に、管理目標値を設定してそれを工認の中で、
1:42:54	配置配合試験だったり実
1:42:57	施工の後ですね確認ということでその物性値を確認して設定をしているところがあると思いますので、その辺がですね基本、基本設計方針の中で、
1:43:13	そことですね許可中に設定した物性値と、
1:43:18	同じような書き方になって、
1:43:21	るように見えたので、その辺はちょっと
1:43:26	確認していただいて
1:43:28	必要に応じてですね、そのあたりは記載の適正化のほうですね、検討いただければと思うんですけど、よろしいでしょうか。
1:43:39	はい。中国電力ですはい。ありがとうございます。確認をして失礼して規制の方からしていきたいと思います。ありがとうございます。はい、わかりました。
1:43:50	はい。私から以上ですか。
1:43:56	規制庁の服部です。先ほどのちょっとコバヤシの確認事項について、
1:44:02	もう一度、
1:44:03	念のために確認したいんですけども、
1:44:06	資料11番の164ページをお願いします。
1:44:14	これ以前のヒアリングD、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:17	杭の引抜き力についてもう。
1:44:20	補最低、最低補正、補足説明資料には、
1:44:27	どういうふうにな算定式どういう物性値を使って、引抜き力を算定してるかっていうのは、具体的にわかるようにします。
1:44:38	これSOAのその引き抜き力に虚偽引抜き力に対しては、
1:44:42	地盤の新制度の評価のところに反映しますって言った記憶があるん。
1:44:48	ですけど、
1:44:50	その等、それでよろしかっそそれーその認識は間違ってますか。
1:45:10	中国電力さんすいません少々お待ちください。
1:45:54	はい。すいません中国電力の磯です。
1:45:57	お待たせいたしました。宗ハタさんがおっしゃる通りですねこちらの方
1:46:02	記載をしていきます。お話をさせていただいておりました。
1:46:07	ちょっとこちらでももとは防波壁の
1:46:11	を少し想定をして記載をしております、衛藤。
1:46:15	この記載をしております。ちょっと今回ですね、審査が進んで参りますと、仮設耐震構造とかそういったところの話がありましてその中でちょっとすいません。
1:46:25	引き抜きのちょっと確認をしているという少し、
1:46:30	きましてちょっと先ほどすいませんアノコバヤシアノちよく際にはそういった回答をさせていただきました。
1:46:36	ちょっと、そういったところを踏まえてですね
1:46:40	こちらの方を少し直してもいいかなと思っていたところでございます。
1:46:44	以上です。
1:46:47	規制庁のハットリですアノなので、
1:46:49	より上位の最上位の補正、添付下に書くかどうかは別にして、より上位の
1:46:59	地盤の支持性能の法施補足説明資料あたりでは、
1:47:04	具体的に正面ごめんなさい。
1:47:08	引抜き力に対する評価式等、算定の考え方が明確になるようにしていただくというふうに今の磯田さんの回答では理解をしました。
1:47:19	その際は
1:47:24	そうするとおそらく岩盤のウェブのCだけを見て、そのCをイシイにその種メイン
1:47:32	AC空襲面積を掛けて、引抜き力にしてるんかなあという想像はしてるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:38	埋め戻しの部分をどうしてるかっていうのはちょっと、
1:47:42	ネガティブフリクションがあるかどうかという問題も含めてちょっとわからないんですけど、いずれにしろ、引抜き力に対しての評価をしているので、そのときに使っていた
1:47:53	引抜局
1:47:56	引抜き力に対する許容限界についても、
1:48:00	今、中国電力で考えているものをきちっとここに明確に記載していただける。
1:48:09	ということでよろしいですか。
1:48:15	はい。中国です。はい。そう申し上げました。こちらはい。
1:48:18	こちらで記載をし、いたします。以上です。
1:48:22	規制庁の服部ですはいわかりました以上です。
1:48:29	はい。他、
1:48:31	よろしいですか。はい。
1:48:32	では四つ目のパートについては以上としまして、
1:48:37	では、すいません、五つ目の説明をお願いします。
1:48:44	はい中国電力の伊原です。続きまして資料番号 12 番と 13 番を用いまして地下水位低下設備の設計方針に関わる補足説明資料の適正化等のご説明をいたします。
1:48:57	資料番号 13 番のページ番、ページで 2 ページをお願いします。
1:49:05	はい。2 ページの方で今回さ、参考資料 1 ということでこの記載の通り安全対策工事に伴う地下水流入量の影響確認についてということを追記しました。
1:49:17	ページでいきますと 18 ページをお願いします。
1:49:22	はい 18 ページの方で参考資料 1 ということで安全対策工事に伴う地下水流入量の影響確認ということを、
1:49:30	1 枚にまとめてございます。
1:49:33	これは 1 ぽつ概要の下にあります、掘削の状況を考慮した解析モデルの指数による予測解析を行いまして 2 ポツで予測解析モデルの変更をしてございますが、この内容につきましては、先ほど地盤の支持性能側で、
1:49:48	ご説明しました。それからセキネの変更と同じ、同様ですので少し次、地盤の支持性能側の補足に呼び込みをしてございます。
1:49:58	3 ポツで地下水流入量の影響確認結果で表 3-1 の方に御説お示ししておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:05	左側掘削ありの流入量は掘削その右側の掘削なしと同程度ということで右側に参考として、揚水ポンプ 1 系統の排出量洞爺の例の
1:50:18	排水可能量についても包絡関係を確認いたしました。
1:50:22	これが一つ目の適正化等の説明です。続きましてページでいきますと、
1:50:33	スミエ、
1:50:34	30 ページをお願いします。
1:50:39	はい 30 ページの参考 2 というのが、これはですね地下水低下設備のオク社の説明するところで、
1:50:52	施設護岸側の耐震性のない、
1:50:55	既設排水量が、地震時に閉塞した場合の状態を仮定して、実際敷地側から海に流せるかっていうところの説明の
1:51:05	確認のところですか。30 ページの方で前回までは 30 ページの一番下にありますように敷地側からの赤いハッチング部分の全水圧、
1:51:16	が、海側よりも下かっていうと 27kN で上回っているため逆止弁を開くという説明をしてございましたが、31 ページ 2 ページをお願いします。
1:51:27	31 ページの方で④ということで逆止弁の開力の確認ということで、この図 3-6 の火力と兵力の関係のイメージのように、
1:51:38	赤い水圧ですね AP2 台 P と逆止弁のつり品からの距離に対して青い、
1:51:47	逆止弁の重量と、ツジ品からの距離の関係の式から、やくし弁が開くということも確認をさせていただきます。
1:51:55	32 ページをお願いします。32 ページの方で⑤ということで回転及び流速の確認で参考で
1:52:03	この状態における逆止弁の開度と流速を比木概算で計算した結果、開度は約 3 センチで、流速は約 2.3 メーターとなっております。
1:52:14	下の(6)でまとめということですが、前回のヒアリングの時にキャビテーション現象というような言及もございましたので、まとめの 2 パラ目なんですけど、仮に上流側からの水圧が一時的に低下して逆止弁の開度が微小な状態になって
1:52:31	たとしても、時間の経過とともに上流側から地下水が流入する。
1:52:36	ため水圧が発生し、再び回路が平大くなるということでこの微小開度や、流速がずっと継続するような状態を行わずにキャビテーションの発生は考えられず、逆止弁開くと。
1:52:48	いったところを適正化で追記させていただきます。
1:52:51	続きましてページでいきますと、39 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:57	3期、39ページが参考の3ということでこれは設計方針にタオカ排水量の設計方針の影響確認ということで、耐震性の内容屋外橋移動が地震時に壊れて地表面に溢れた場合プラス、屋外タンク等の溢水
1:53:16	によって溢水防護区画への影響確認をするような説明資料になってます。
1:53:21	この3940ページの方では
1:53:25	前回5月9日の方に別途ご説明してございます復水貯蔵タンク呉やトラス受入タンク等の3タンクを1水源とした溢水伝播挙動解析。
1:53:36	その結果の結果とそのときにいただいたコメントも含め、資料を張りかえてございますそれが40ページから4142ページまででございます。
1:53:48	結果については43ページをお願いします。
1:53:51	表3-1の方で最大浸水深を記載してございますが、
1:53:56	いずれにせよこの評価地点についても地下、影響ないだとか届かないだとか、防水で応募するということで溢水防護区画への影響はないということを確認してございます。
1:54:11	続きまして44ページをお願いします。
1:54:14	4ページの方が参考資料の3でこのアクセスルートへの通行性の影響についてということで、同じく大江タンク等の溢水、
1:54:26	と地下水が中央に溢れた場合の浸水深をお声、アクセスルートの
1:54:31	通行性についての確認する資料になってございまして日中ほどの表3-2につきましては、表の右側ですね、各可搬型SA車両について地下水の浸水想定時間と想定範囲、
1:54:47	の通過時間を
1:54:50	SA時のタイムチャートをもとに追加してございます。
1:54:53	45ページをお願いします。
1:54:56	45ページの方で評価結果なんですけども、
1:55:01	同じようにですね前回と同じように一時的に消火地点については、クライテリアの27年度を超えますが時間の経過とともに、
1:55:11	車両が通行するためアクセスルートへの通行性への影響ないと。
1:55:15	ということで中程の注記のですね下の方に
1:55:21	記載してございます。これにつきまして具体的には大容量阿多大量送水車が50分以降には、
1:55:28	通行するのでその
1:55:31	推移でいうと23線に対して25センチ以下といったところで営業のところは確認してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:38	最後になります、同じ 45 ページの方でその下の方ですねアオキ以降でこのですねアクセスルート等の影響確認につきまして、またあと、
1:55:50	紐付けということで、参考資料 4 の仮設ホースの接続の運用だとか、参考資料 5 に示したカトウ間を排水側溝内に、
1:56:02	入れて変位追従性を有し有するというような自主的な対策というのも紐づけをさせていただきます。
1:56:08	以上で地下水位低下設備の設計方針に関わる適正化の説明は以上になります。
1:56:17	はい。規制庁、日浦です。それでは五つ目のパートの近づいていく設備の設計方針に関する内容について確認する点をお願いします。
1:56:31	はい。規制庁の仲村です。1 点だけちょっと確認させてください。資料の、
1:56:37	13 番の 30 ページですね。
1:56:44	30 ページで図の 3-5 の正圧の作用イメージっていうので赤の三角対応の三角が示されてるんですけども、
1:56:53	ちょっと構造がわかんなくて教えてもらいたいんですけど。
1:56:57	要するにこの赤の方の、敷地側ですけど、例えば 28 ページで、
1:57:06	の図の 3-4 を見ると、
1:57:11	敷地が、その他、
1:57:14	集水桝のところですけども、その左側に既設排水炉閉塞っていうふうに書かれてるんですけども、
1:57:23	ただ、
1:57:24	何かちょっとよくわかんないのは、
1:57:27	20 ページの、
1:57:29	図の 2-1 を見ると何か既設排水炉から、既設の排水量からこう流れてくるような絵になってるんですけど、ここが閉塞されてるのかどうかっていうのをちょっと確認したいっていうところです。で、
1:57:44	なぜ、なぜかっていうと、赤の底が、流れるのであれば、赤の三角形の 8.5 メートルまで本当に水路の水位が上がるのかなというところでちょっと確認させてください。
1:57:58	まず、いかがでしょうか。
1:58:02	はい中国電力の伊原です。
1:58:06	はい。
1:58:08	まずですね 20 ページでお示ししてますのが、常時の地下水が排水。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:14	する流れの経路で、上の平面の通りですね、オク
1:58:18	排水の側溝を経由して、敷地が集水枡に入るといような状況。
1:58:29	あ、すみませんもう一度お願いします。
1:58:32	あ、あそうか。そうですか。
1:58:35	続けます合わせ衛藤はい。
1:58:37	安孫子アリマさんで続けます。
1:58:39	江藤で 28 ペイジー以降がですね、基本的に耐震性がない屋外排水炉は、
1:58:50	期待せずですね、地震時に完全比率をすると、で、
1:58:54	28 ページの図 3-4 の左側の既設排水炉や、右側の施設護岸側の下の排水量は耐震評価等はしてございませんので、そこは期待しない状態で、
1:59:06	敷地に水が溢れるといった状態で、28 ページの上にQ=コンマ 12 立米/secとあるんですけど、敷地から 5 水が入ってくると。
1:59:16	一旦も想定した場合に、海側に合わせるかっていったところのチェックになってございますので、座れるような 2030 ページのような、
1:59:25	はい赤井。
1:59:28	パッティングなくあるかって言われたら、
1:59:31	当然既設排水量は、
1:59:33	聞いていれば開くんですけどそうですね今閉塞した状態を仮定してこういった確認をさせていただきます。
1:59:41	以上です。
1:59:43	規制庁仲村ですけどそうすると結論的に言うと、
1:59:49	ここはもしかすると閉塞しない。
1:59:52	で、
1:59:56	8.5 メートルのエレベーションのところまで、
2:00:00	上がらないかもしれないってことを今言われたっていう結論でよろしいですか。
2:00:09	上がらないかも。旧昭和電工イハラです。上がらない。
2:00:13	わからないっていいいますか。
2:00:15	要するに継続した場合には上がって、耐震性を確保した敷地が集水枡からの上部から流入するっていような話で、説明になります。以上です。
2:00:26	てことは地震で、
2:00:29	閉塞しないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:31	上がらない。
2:00:32	要するに、既設の水路がつぶれないと。
2:00:37	水位が上がっていかないっていう認識でよろしいんですか。
2:00:43	1 億円分のミウラですはい。その認識の通りです仮に地震時に決済制度が継続しなかった場合には、
2:00:51	通常の
2:00:53	常時の状態で、逆止弁が開いて箕輪れるというような想定をしています。
2:01:00	そうすると結論的に言うと 30 ページ以降の両括弧 5 以降の、
2:01:07	検討しているのは、
2:01:11	ある意味、意味をなしてないような感じを私は感じるんですけど。
2:01:27	はい。栗原さんのおっしゃる通りで壊れないって想定であればこういった 31 ページとか谷ページに書いてあるところは、説明は不要だと考えてます。
2:01:56	中国のイハラですちょっと補足しますがこの 28 ページー27 ページからが出口側集水柵から海までの区間の区間 3 ということで、
2:02:11	ですね
2:02:12	(1)の方で出口側集水柵からの排水確認ということで、28 ページの上、
2:02:18	ですね、(2)で、耐震性各課が確保されていない既設排水が地震時に閉塞した状態を仮定し、
2:02:25	区民が流せるかという確認をしたというのが 38 ページ以降の説明になります。あくまで仮定の説明です。以上です。
2:02:37	規制庁仲村ですけども、今説明されていることは、理解しました要するに、
2:02:47	例えば、28 ページの絵のようん、図の 3 の 4 の絵のような状態であったら、
2:02:55	要するに左っ側が閉塞したっていう仮定であれば、
2:03:00	その蓋は右っかわの蓋は、
2:03:03	開きますよということっていう説明は理解したんですけど。
2:03:09	本来の趣旨の説明っていうのはそれでよかったんですか。
2:03:27	はい中国電力の伊原ですはい本来の 27 ページーからが、
2:03:34	すいません 3025 ページからが 3 ポツ 2 で、屋外排水度の中で、耐震性が確保されていない区間の
2:03:43	説明になってまして土佐 27 ページが、出口が集水柵から海までの区間。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:50	本来はちゃんと海まで流せると、地震後に流せるってところで本来の説明は、
2:03:56	ここで説明できると思います。
2:04:06	規制庁仲村ですけど、少し私も思い出してきたところがあるんですけど、27ページの図で、
2:04:15	赤の星印で書いてはい。配水路が閉塞した場合に、ほんとはふたが開くのか逆止弁が空くんかっていうところで、
2:04:25	説明されたところは、
2:04:29	理解して左側の地下水が8.5メートルまで上がるってところは理解したんですけど、
2:04:38	ただその前提には、
2:04:42	既設の排水炉が閉塞しないという、いけないという、
2:04:48	仮定が入ってくるってことですけど、それについては、じゃあ閉塞しなかったら、
2:04:54	どうなんですかっていうところは、回答になってないっていう。
2:04:59	お答えでよろしいですか。
2:05:01	中国電力清水です。ちょっと確認させていただきますと等へ今仲村さんおっしゃられてる、I水路が閉塞っていうのは、
2:05:11	この水路の下流側をされて、言われてるのか上流側をされてるのか、ちょっとよくわからないんですけど、どっちを今されてるか言ったのはですね、資料で言うと27ページで、
2:05:26	図の3-3っていうのがあるんですけども、海側の方ですね。
2:05:33	赤の星印みたいのがついてて、
2:05:36	そこの海側の排水量がもし閉塞した場合でも、
2:05:45	流れるかどうかっていうので本来はだから屋外排水炉出口側集水柵っていうのが、
2:05:52	水位が上がって行って、
2:05:55	それが、
2:05:57	海の方、地表伝って海の方に流れるってことの説明だと思うんですけどもそうなった時に本当に逆止弁、屋外排水の逆止弁が開くかどうかっていうところで、
2:06:09	この検討が、
2:06:12	されたのかなと思うんですけどもその前提ってなるのが、
2:06:17	既設排水炉の閉塞が前提っていうことであれば、本来の、
2:06:22	説明に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:26	なってるのかなっていうところをちょっと確認したいんですけど。
2:06:30	はい自己電力の伊原です。はい仲間さんの下の言われてる趣旨が終わりまして
2:06:36	今回 28 ページにしてよ、示してるような、既設の左側ですね、既設の排水が閉塞した仮定をしていますが、
2:06:44	27 ページのように、仮にオク施設護岸がワダだけが閉塞して、
2:06:51	左側の施設敷地アノし、これは水路が
2:06:55	健全だといった状態だったら、時間の経過とともにし、既設の駿河湾間なりましてそのうち溢れまして、それから敷地側の 8.5 メーターから入ってくるような、
2:07:08	状態となりますのでそういった時前提条件ですね、今、記載の方は既設アシードの側も、
2:07:15	完全閉塞したことを仮定して決め打ちですので、
2:07:19	そういったこれが継続しなかった場合には時間の経過とともに、28 ページの上を示しているような敷地が集水柵の上から水が入ってくるというような条件をちょっと追記させてもらいたいと思います。そうです。
2:07:34	規制庁仲村ですけど私の方もちょっと、一番初めに言いましたけど排水炉の既設配水炉自体の構造とかもちょっとよくわかんなかったんで確認したところがあるんですけども、今の説明、
2:07:50	要するに既設はい水路が閉塞して満水になってそれで初めて、陸側の方の集水柵が地下水が上がっていくってことであれば私も理解しますんで、
2:08:03	ちょっとそこをですね、
2:08:06	少し追記なりしていただいたら、それで結構だと思いますんで、よろしくお願いします。
2:08:14	私からは以上です。
2:08:15	はい、わかりました。ありがとうございました。
2:08:24	規制庁の服部です。私からちょっと今のナカムラの話とちょっと共通するのかもしれないんですが、
2:08:31	31 ページをお願いします。
2:08:36	ここで兵力モーメントという言葉が、
2:08:39	この兵力モーメントの考え方を少し確認したかったんです。
2:08:45	力のつり合いで行くか開かないかを判断するということは理解していて、
2:08:54	これはあれですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:56	今、
2:08:57	図 3-6 のPがあって、
2:09:01	今この計算上はPが、
2:09:06	Pが水頭がEL8.5メートルにあったときのPを使っていますと。
2:09:12	そうすると、
2:09:15	そうするとXが、2.1 になって、1.31 より大きいので、あとそこまで行けば比叡もう絶対開くんです。
2:09:26	という説明になってるんだと理解しています。
2:09:31	それを逆に考えると、
2:09:33	実際にその水頭が 8.5 メートルになくてだんだんこう下がってきたときに、当然Pも減っていくんだと思います。
2:09:44	そうするとPが減ったらですねえ。
2:09:47	当然そのXも減っていく。力のつり合いを計算するとXが減っていくんですと。
2:09:56	で、
2:09:57	Xが 1.31 になったときに、
2:10:02	初めて開く。
2:10:04	という理解でよろしいんですか。
2:10:09	はい中国電力の伊原です。ご理解で結構ですこのフラップ弁の設計もですねその上流側からの推進、
2:10:17	と、通勤からの距離のつり合いで通常運用でも実践従来上流に水が出ればたまれば開くような構造なってますので、はい。
2:10:28	そのような、
2:10:30	イメージでは結構です。
2:10:33	規制庁の服部です。だから、
2:10:35	そのせえ開くか開かないかの設計上は今の釣り合い式でやっている
	と。
2:10:42	ただ実際の現象としては、32 ページにあるように、
2:10:47	そこまで水頭が上がらなくても、
2:10:51	これはハイテしまうもんだと。
2:10:54	で海田約 3 センチって書いてあるってことは、おそらく開度 3 センチだと。
2:10:59	この前の 31 ページのXは 1.31 メーターにならないと思っています。
2:11:05	だからその、あくまでも設計計算上の開くか開かないかの判断は今の力のつり合いでやるんだけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:13	現実の評価としては、町長ちょっと流れてきてとしても、海田 3 センチ、
2:11:21	のところで水が流れてくれば、開いて、だんだん減っていくので、実際の水頭はそれ以上上がっていかないという理解でよろしいですか。
2:11:34	中部電力のイハラですはいそのご理解で結構です。
2:11:39	規制庁の服部ですわかりました
2:11:42	この兵力モメントって、どういう考えなのかなっていうのを確認したかったのが最初の確認事項でそれについては理解をしました。
2:11:55	あと記載なんですけど、32 ページのところ、
2:11:58	一番⑤の最後のQ=掛ける分より 2.3 メーターパーセクってあるんですけど、
2:12:06	こころはちょっとわかりにくいので、
2:12:10	Q = × 部位、
2:12:12	= スモール A × ラージ B × V =
2:12:17	呉より裏地分よりって、もう一つ式を追加していただけますか。
2:12:25	中国電力の井原です。わかりました。はい。はい。甲斐同等。
2:12:29	スピードはBを。
2:12:31	追加して、はい。
2:12:33	及び用意します。以上です。規制庁の服部です私、わかりました私から以上です。
2:12:43	はい。こっから。
2:12:45	お願いします。
2:12:49	うん。規制庁の三浦です。
2:12:53	資料 13 番の 18 ページ。
2:12:59	はあ、これ先ほどご説明あった参考資料 1 の部分なんですけど、
2:13:05	これ一、その前に説明あった。
2:13:09	実際の浸透流解析の結果、これを引用できるようにしておいていただけませんか。
2:13:18	例えば 3 番で見るとね。
2:13:20	草場李の場合、掘削なしの場合の地下水、
2:13:26	流入量、これは出てるんですが、掘削なしの場合の、
2:13:31	流入の方が大きいんですよ。
2:13:33	で、
2:13:35	それはなぜかっていうと多分先ほどの資料 11 の解析でやっていて、
2:13:42	いろんな周辺状況はあるんだけど、
2:13:45	まずその部分の原子炉建屋の水レベル見てやると、資料 11 の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:53	170 ページ。
2:14:02	こう見てくると、
2:14:09	実際に、ごめんなさい、きちんと 17 の、
2:14:14	177 ページ、177 ページ見ると、
2:14:18	表 4-1 見てくると、原子炉建屋の
2:14:23	掘削前の水レベルが、
2:14:26	マイナス 9.9 なんですよ。
2:14:28	掘削後の
2:14:31	水レベルの 9. さ、
2:14:32	だからこれ多分、
2:14:34	掘削前の方が水位が下がってることが、
2:14:38	掘削なしの場合の方が、水量多くて当たり前の結果になってるんですよ。
2:14:46	ステイレベルが下がってるってことでそんだけ水引いてるってことなので、多分その結果が、今の資料の 18 ページに、
2:14:54	の結果で、掘削増しのケースの方が草刈よりも、
2:14:59	流入量が多いって結論に結びついてんだと思うんですよ。
2:15:05	ですから、この部分については、先ほどの資料 11 の資料を引用して、掘削なしの場合
2:15:15	掘削なしの場合は掘削ありの場合への水大井理由もそこに示されてると思うので、そういう考察も含めて、資料の引用を図っていただいたらいいんじゃないかなと思うんですがいかがですか。
2:15:29	事業継続のイハラですはい。承知しました地盤の申請の側の先ほどのはい参考資料の 1-8 の原子炉建物の地下水設計が、地下水の結果も踏まえて少し引用。
2:15:41	をして考察を付け加えたいと思います。
2:15:44	以上です。はい。よろしく申し上げますはい。私から以上です。
2:15:50	はい、井清タテイワタ他、
2:15:53	よろしいですか。
2:15:55	はい。
2:15:56	では
2:15:57	五つ目のパートについては以上といたします。では次、六つ目のパートについてお願いします。
2:16:15	中国電力の柏木です。では火山関係のご説明をさせていただきます。
2:16:21	資料 14 番お願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:24	資料 14 番の回答整理表の 2 枚目のナンバー8 のところですが、
2:16:31	こちらにつきましては
2:16:34	3 月 7 日にご指摘いただいた内容でコメント内容としては、火山及び耐震におけるディーゼル燃料貯蔵タンク室の各部位の要求機能評価内容について整理して説明することというコメントをいただきまして、
2:16:46	こちらにつきましては、2023 年 3 月 31 日に一度ご回答をさせていただいたんですが、ちょっと不足がございましたので今回ちょっと訂正をさせていただくということで、
2:16:59	今回白抜きにして今回回答と追加をさせていただいております。追加させていただいたのが、回答欄のところなんですけれども、
2:17:07	3 行目のところで火山評価におけるディーゼル燃料貯蔵タンク室の許容値について、Bディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽に合わせてコンクリート標準示方書に基づく値に見直しましたと。
2:17:19	いうことを書いてるんですが、許容値につきまして、土木、もともと建築手法で建築の許容値を使ってたんですが、土木側の許容値に合わせたと。
2:17:30	というのが前回ご説明させていただいたところなんです、その次の赤字のところ、前回の段階では許容値だけしか修正しておらず断面評価のやり方をそのまま建築手法で、
2:17:43	やっておりましたので今回、土木時報に
2:17:47	合わせて修正をさせていただきますということで大変失礼しました。
2:17:52	内容につきまして資料でご説明させていただきますが、
2:17:56	17 番の資料の、
2:17:58	20 ページをお願いします。
2:18:10	こちらの黄色ハッチングのところ、(2)の断面の評価方法というところになります、前は建築手法で、RCMの評価方法に基づき、断面の評価を記載しておりましたが、
2:18:24	今回、土木の 3.5. 2 の、その下のところのBディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の評価の方と評価方法を統一しまして、
2:18:35	土木手法で対応するということを記載しております。
2:18:39	続いて 23 ページをお願いします。
2:18:45	23 ページが表 4-1 から 4-3 は評価結果をまとめたところになりますが
2:18:52	土木手法で評価をしたところ、照査値のところそれぞれ小曲げが 0.15、コンクリートの曲げが 0.15 鉄筋の曲げが 0.27。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:02	せん断力に対する評価結果が 0.23 ということで、照査値は十分裕度を持っているということを確認いたしました。
2:19:12	続いて 14 番の回答整理表に戻っていただいて 3 ページをお願いします。
2:19:22	3 ページは適正化箇所になりますが
2:19:27	代表して 1 ヶ所ご説明をさせていただきますして 340 番のところになりますが、許容限界の記載について一部修正をしております。資料 16 番、
2:19:38	ー 16 ページをお願いします。
2:19:47	こちらが原子炉建物の許容限界の表になりますが、修正させていただいたのが 1、一番下の気密性のところの、
2:19:56	一番右の許容限界の欄の下から 2 行目のところなんです、RCM 基準に基づく短期許容力度を、
2:20:06	ということで記載してるんですが、前回、ここにコミュニティーシートをつけておまして注記をつけておまして、下の※1 のところを見ていただくと、許容限界は終局強度に対し妥当な安全余裕を有したものとして設定すること。
2:20:21	というふうに記載をしておりますが、
2:20:26	こちらの、
2:20:27	内包する施設の評価においては基本的には褶曲なんです、
2:20:32	終局に対して短期許容応力度を設定しているということにしているんですがこちらの機密性の評価につきましては、そもそも機密性の評価自体がターンキーを要求されているので、
2:20:43	こちらについてはこの※1 をつけずに、その 1 をとったと、というような修正をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
2:20:50	ご説明は割愛させていただきますが資料 15 の方の方針の方も同様に修正をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
2:20:58	ご説明は以上になります。
2:21:03	はい。規制庁チギラです。それでは今の説明として確認する点等、
2:21:09	よろしいでしょうか。
2:21:12	コメント No.8 についてもよろしいですかね。
2:21:14	はい。
2:21:15	ちょっと 1 点確認があります。
2:21:22	規制庁の服部です。少し聞き取れなかったのもうちょっと念のために確認だけさせていただきます。
2:21:29	今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:30	この
2:21:31	資料 14 番の、
2:21:34	丸は、コメント番号 8 番のところの、
2:21:38	土木時報と言ってるものは、
2:21:43	とあと建築手法ってあるんですけど、
2:21:46	この土木手法というのは、
2:21:49	具体的にどういう手法なんでしょうか、ちょっともう一度お願いします。
2:21:59	中国電力の柏木です。ご説明ちょっと足りてなくて申し訳ございませんでした。資料 17 番の、
2:22:11	20 ページのところですが、
2:22:17	もともとですねこちらの(2)の断面の評価方法で建築手法というふうに記載しておりましたのはそちらは、具体的にはRCM基準に基づいて、
2:22:28	鉄筋の検定値等を評価してたということになりますが、今回土木手法と言っているのはですね、コンクリート標準示方書等に基づいて、
2:22:38	その下の 3.5. 2 のところのBディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽で、評価をしている内容と同じ評価手法を用いて、今回、再評価したと。
2:22:51	というような内容になります。以上です。
2:22:59	規制庁の服部です。すいません。具体的には、
2:23:03	3.5. 2 の(1)のcポツにある、
2:23:07	今回は 2 次元静的FEM解析を使ったということが土木手法ということなんでしょうか。
2:23:17	中国電力の柏木です。こちらのCの応力算出方法のところは、単純な定式によるもので、こちらで曲げモーメントとかせん断力を算出しています、ここは建築法とか土木省とかそういう話ではなくて発生
2:23:33	する発生の曲げモーメントとせん断力を出しています。具体的に
2:23:39	モーメントとせん断力を使って断面の評価、評価をする際に、
2:23:43	次の 23 ページに具体的に、
2:23:47	23 ページで具体的に評価結果を載せておりますが、
2:23:51	こちらで、
2:23:54	例えば表 4-1 だと、左側に曲げモーメントという、kNメートルで記載がありますがこちらを曲げ圧縮応力度に変換すると。
2:24:04	いうところで先ほどご説明した土木手法で変換をしていると。それに対して、その右の短期許容力度というこちらも
2:24:15	土木側の許容値になりますが、それを用いて調査をしていると、というような形になります。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:38	アノ。
2:24:41	規制庁のハツリですはいちよつと手法っていうので何かちよつと大げさな手法が違うのかなと思ったんですけど、そういうことではないということで、
2:24:52	土木のそのやり方でやりましたということで理解をしました私から以上です。
2:25:21	はい、瀬戸チギラです。他何かありますか。よろしいですか。
2:25:26	火山関係。
2:25:28	よろしいですか。はい。
2:25:29	では六つ目のパートについては以上といたしまして、では最後、七つ目のパートについて説明をお願いします。
2:25:42	中国電力の藤原です。
2:25:44	それでは静的線形解析につきましては、解析コードの適用性についてご説明をさせていただきます。
2:25:51	資料 18 の 15 ページをお願いいたします。
2:25:57	適正化箇所の一覧表を示しておりますが、このうち、No.3843 及びNo.3844 におきまして、前回のヒアリングコメントに対する適正化を行っておりますので、
2:26:10	その内容につきましてご説明をさせていただきます。
2:26:14	資料 19 号参考 8 号、9 ページをお願いいたします。
2:26:23	前回のヒアリングにおきまして、より詳細が、
2:26:27	検証を記載するようコメントをいただいておりますことから、
2:26:30	この度、検証を追加させていただきます。
2:26:34	まず、5.1. 2 章におきまして、剛性に応じて応力が再配分されていることの確認を実施しております。
2:26:42	解析モデルを次のページの図の 6 にお示しをしておりますが、
2:26:47	前回のヒアリングと同様、九つのプロセスから成るモデルに、
2:26:51	表の 3 にお示ししております。初期揚力を与えまして、
2:26:56	真ん中の要素がせん断破壊をしている状態におきまして、応力の再配分を実施しております。
2:27:04	各要素の剛性を表の 2 にお示しをしておりますが、すべての要素の剛性を一律といたしましたケース 1-1 と 2 と、
2:27:17	その一方、高く設定し、要素 2 と 8 の要素により多く応力が配分されることを想定しました、ケース 1-2 の二つのケースを実施しまして、それぞれのケースの応力再配分後のモール能力縁を比較をすることで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:33	剛性の差に応じて応力再配分がなされていることを確認をしております。
2:27:39	参考 8 号、11 ページをお願いいたします。
2:27:45	応力再配分前後のモールの応力塩を図-7 にお示しをしております。
2:27:51	再配分前のモール能力円を点線で、
2:27:54	ケース 1-1 の再配分後の応力塩を青色の線で、
2:28:00	また、ケース 1-2 の再配分後の、
2:28:03	緑園を赤線でお示しをしております。
2:28:06	要素 5 の強度を超える応力を配分した結果、主に、要素 2 と要素 8 に応力が、
2:28:14	配分されておりますが、
2:28:16	剛性が一律なケース 1-1 に比べまして、
2:28:20	要素 2 と 8 の剛性を高く設定いたしました、ケース 1-2 の方がより多く応力が配分されていることがわかります。
2:28:29	このことから、剛性に応じて応力の再配分がなされていることを確認いたしました。
2:28:35	また、次のページの図の 8、
2:28:39	2、ケース 1-2 におきます、応力再配分前後の使用力図をお示ししております。
2:28:47	あわせて、当ケースにおけます応力再配分概念図を、
2:28:52	下の図-9 にお示しをしております。
2:28:56	応力再配分の流れといたしましては、まず、破壊をしております要素 5 におきまして、
2:29:03	強度を超え労力を配分するため、
2:29:06	図の 9 の②のように、最大使用力であります σ_y 能力を減少させ、代わりにヨウ素が圧縮となる方向に、
2:29:16	節点荷重を作用させます。
2:29:20	その節点荷重により、利用図の 9 の③のように、
2:29:25	各要素に応力が、
2:29:28	配分されます。
2:29:31	左右の要素 2 と 8 につきましては、節点荷重が、集合後に、
2:29:37	働きます、それにより、図の 7 におけます、要素 2 と 8 の、
2:29:43	緑園が圧縮側であります右側の方に動いているものと考えられます。
2:29:51	続きまして参考 8-13 ページをお願いいたします。
2:29:59	5.1. 3 章。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:01	におきましては、もう一つの検証といたしまして、
2:30:05	破壊により応力を配分した要素に、
2:30:08	そのあとの繰り返し計算の中で、再度応力が配分されることの確認を行っております。
2:30:15	解析モデルを次のページの図の中に、
2:30:18	また、市、
2:30:19	諸協力条件を表の後ろにお示しをしております。
2:30:23	先ほどのケースと若干条件を変えておりますが、
2:30:27	先ほどのケースと同様、要素 5 のみが見せん断破壊をしている条件におきまして、応力再配分を実施しております。
2:30:36	構成を表の 4 にお示しをしておりますが、
2:30:40	要素 2 と 8 のみの剛性を高めることで、
2:30:43	要素 2 と 8 に応力が集中するように設定をしております。
2:30:48	参考 8-15 ページをお願いいたします。
2:30:55	応力再配分前後のモーメントの応力値を図-11 にお示しをしておりますが、
2:31:00	諸協力オク黒い色の点線で、
2:31:04	1 度目の配分を行った。
2:31:06	ステップ 2 におけます応力値を青線でお示しをしております。
2:31:11	またその後のステップ 3 から最終ステップにおけます応力値を、茶色の線でお示しをしております。
2:31:19	青色の線で記載をしております。ステップ 2 におきましては、要素後から配分された応力が、合成の大きな要素 2 と 8 に主に配分されておきまして、
2:31:31	要素 2 と 8 がせん断破壊していることがわかります。
2:31:34	その後、ステップ 3 以降におきまして、要素 2 と要素 8 におきまして、影響度を越えた応力が各予算に配分される際、要素後の、
2:31:45	応力円も右側に移動しておりますことから、応力を再配分した要素にも、
2:31:51	その後の計算の中で、再度応力が配分されていることを確認いたしました。
2:31:57	また最終ステップにおきまして、すべての要素で強度を超える応力が発生していない状態になっていることを確認いたしました。
2:32:06	また次のページに応力再配分前後の使用力図と、応力再配分の概念図をお示しをしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:14	本ケースにおきましては、破壊をしている要素 5 能力を配分する際に、
2:32:20	図の 13 の②のように、最大使用力であります ΣX の応力を減少させまして、代わりに X 方向に圧縮となる方向に節点荷重を作用させております。
2:32:34	そうしますと、要素 2 と 8。
2:32:37	におきましては引っ張られる方向に節点荷重が働きますして、
2:32:44	頭脳 11 の要素 2 と 8 のモール能力円が、
2:32:48	引っ張りの方向であります左側に移動しているものと考えられます。
2:32:54	様子、参考 8-17 ページをお願いいたします。
2:33:01	5.2 章では、妥当性確認についてお示しをしておりますが、このたび、本解析の解析目的と、
2:33:08	解析コード等の紐づけがわかるように記載を追記しております。
2:33:14	まず、本解析。
2:33:16	におきましては、岩盤において破壊領域が連続して分布し、周辺へのは進行性破壊が懸念される場合におきまして、静的線形解析を実施をいたしまして、
2:33:27	応力再配分により、進行性破壊の有無を確認をしております。
2:33:32	一方で、本解析コード、
2:33:35	におきましては先ほどご説明をさせていただきました、検証の通り、
2:33:40	静的線形解析による応力再配分に関して直接検証しておりますことから、解析の目的に照らして、本解析に適用することは妥当であるというふうに判断をいたしました。
2:33:52	以上でご説明を終わらせていただきます。
2:33:56	はい、規制庁チギラです。それでは、今説明に対して確認する点ある方、お願いします。
2:34:11	規制庁の服部です。
2:34:13	これ
2:34:18	ページ 8-5 のフローチャートですね、この通りに、きちっとその合成剛性マトリックスに応じて配分されて、
2:34:27	A ループしてるかというところと、そのループの繰り替え CI から N ですが、
2:34:36	その繰り返しのと中期プロセスはどうなってるんですかっていう話を、
2:34:40	までは少し確認しておいた方がいいんじゃないですかということで確認していただいた。
2:34:46	ということで理解をしています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:48	何点か確認をさせていただきたいんですけど、
2:34:52	まず 8-11 ページをお願いします。
2:34:57	まず要素 5 については、応力、最初の応力が破壊、
2:35:05	線を越えているので、応力再配分が次のステップで起こりますと。
2:35:09	ということで、
2:35:10	理解をしました。
2:35:13	その要素に移ったときに、
2:35:16	その青い要素に、
2:35:18	剛性を一律にした時は大井線になりましたと。
2:35:23	合否に応じて剛性マトリックスに応じて再配分されるということなので、
2:35:30	イメージとしては、
2:35:32	剛性比がおっきいほど要は剛性が大きいところに応力が集中していくんだ。
2:35:39	という、
2:35:40	ふうなことで確認をしていただいたとっていて、
2:35:44	実際剛性を 10 倍にすると、
2:35:51	青い線が赤い線のように、応力がこちらの要素 2 の方に、より集中してるといことは理解して、
2:36:01	実際に剛性マトリックスに応じて配分されてるんだということはわかりましたと。
2:36:09	ただちょっと確認したかったのは、
2:36:11	この剛性が 10 倍になってよし、要素に合否が 10 倍になってるのに、
2:36:16	この程度しか、実際に
2:36:20	応力集中しないのかなあ。
2:36:22	ということはこういうもんなのなんですかということを実事実確認としてしたいと思いますが、
2:36:29	10 番してもこの程度しか変わらないということで理解すればよろしいですか。
2:36:35	中国電力の藤村です。
2:36:37	先ほどの質問の趣旨といたしましては、剛性を高めたにもかかわらず、要素にイトウ 8、
2:36:45	あまり集中していないのではないかといった趣旨のご指摘だと認識しております。こちらにつきましては、要素 5 の点線を見ていただきたいんですけども、こちらが貯金、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:59	降雨力状態になっておりまして、この最初の労力状態において、それほど破壊形状線を越えていない。
2:37:09	能力データイダために、
2:37:11	配分しても、要するに対応する人それも別な努力がしながら、
2:37:17	わかった。
2:37:19	本郷線を 10 倍にしたけれども、小杉と 8 にそれぞれ、
2:37:23	動いていないという結果に、
2:37:27	認識をしてございます。
2:37:30	以上です。
2:37:31	規制庁の服部ですわかりました。こういうものなんだなということでわかりました。ただあれですね。結局要素 2 と要素 8 に応力が集中した分、
2:37:41	要素 369、147 はこれちょっと
2:37:46	今説明があったように少ししか破壊基準線を越えていないので、よくわからないんですけど、
2:37:52	少なくとも小さくなって、
2:37:54	赤い方が赤い方が小さくなってるという理解すればよろしいんですね。
2:38:06	ノジマです。
2:38:08	ちょっとご質問の趣旨を確認させていただきたいんですけども赤い線が小さくなったというのは、養蚕イトウイワサ 8 以外の、
2:38:16	農林について、要するに土佐 8 の剛性を高めたことで、他にはあまり配分されなくなったことで、もう全員があまり動いていないというそういう趣旨。
2:38:27	ご質問ということでよろしかったでしょうか。すみませんちょっとず、言い方が悪かったですねそうですね。結局、要素 5 で、破壊基準をず、超えた分だけの要素が応力が配分されると。
2:38:41	合成が一緒ならば一律機周りの 1235678 にほぼ正しいかどうかわからないけど概念的には同じだけ、8 分 8 等分で配分される。
2:38:55	というイメージがあって、剛性比を 2 頭 8 だけ高めると、8 等分ではなくて 2 と Hatch に、より応力が
2:39:05	分配されてしまうので、その多く分配された分だけ、周りの 147。
2:39:11	369 は減ってるはずですねっていうことを確認したかったんです。
2:39:16	実際にこの赤と青の線がほぼ重なってるので、よくわからないんですけど、減ってますよねって、要するに 5 要素 2 と 8 に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:27	応力が集中した分だけ、
2:39:30	減ってるんですよっていう事実確認をただけですけど、よろしいでしょうか。
2:39:37	中国電力の 17 ですありがとうございます。ご認識の通りで、要するにイトウ 8、2A とケース 1 の 2 では、要するにと 8 に、
2:39:48	剛性を高めて応力集中させいたことによって、例えば要則を見ていただきたいんですけども、ケース 1-1 だと、黒線から、
2:40:00	左側に動いていたものが、ケース 1-2 では、それほど移動していないという状態になっておりまして、要素 2 と 8 に集中したことによって他には、あまり、
2:40:11	配分をされなくなったものと認識しております。以上です。
2:40:15	規制庁の服部です。はいわかりました。あと 15 ページお願いします。
2:40:22	今度はその配分されたその応力が、
2:40:26	再配分されるときにどのような配分再配分するんですかというところで確認をさせていただいたと理解をしています。
2:40:35	2 点ほど確認をしたいんですけど。
2:40:38	まず要素 5、
2:40:40	点線の部分だけ破壊したので、その分の応力が、
2:40:45	周囲に、
2:40:47	配分されましたと。
2:40:49	要素ミニを見ていただくと、
2:40:51	ステップ 2 のところで配分されてるので、当然、天黒点線のステップ 1 から配分された分だけ、
2:41:01	大きくなっていて、青い応力状態になっていますと。
2:41:08	それはいいですよと。
2:41:10	今度、要素 2 がこれで破壊判定をされて破壊という判定をされたので、要素に能力が再配分されるはずなんですよね要素 5 とか 1 とか、
2:41:21	3 人、まあ 6 とか 4 もそうですけど、
2:41:25	そのときに、
2:41:26	再配分、ステップ 3 という、その雨水を、ハラ井戸みたいなもの、応力状態になると思うんですけど、
2:41:36	要素にワー
2:41:38	今度、
2:41:39	破壊基準を超えないように、
2:41:44	周りの要素 2、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:46	配分されると思っていたので、
2:41:49	ステップ 3 の、
2:41:53	元というのは、
2:41:55	破壊基準線を越えないんじゃないかな。
2:41:58	と思っていたんですが、
2:42:01	そういうような再配分ではないということですか。
2:42:07	中国電力の藤村です。
2:42:09	図-13 をご覧いただきたいん
2:42:13	ですが、こちらの方に、応力再配分の概念図をお示ししております。
2:42:20	これ一番から 3 番まで記載をしているんですけども、まず一番が応力再配分前の破壊をした状態に、
2:42:29	なっております。
2:42:30	この破壊した応力をどのように、他の要素に配分させていくかということなんですけれども、まず 2 弁をご確認いただきたいんですけども、
2:42:42	この一番を破壊している。
2:42:45	暴力。
2:42:46	このうち、この例ですと特に横方向の ΣX が大きい。
2:42:54	なので、破壊をさせないように、この ΣX の応力を小さく、
2:43:01	されてます。
2:43:01	それはもう何分で、点線のものが実線になっていますよということをお示しをしているんですけども、
2:43:09	こちらの
2:43:10	赤い要素の応力を小さく、
2:43:13	させて、
2:43:14	それに該当するだけの節点荷重を、
2:43:18	破壊した要素を、要するにかけて、
2:43:22	ということをしてます。
2:43:25	この接近荷重を、破壊を要するにかけた状態で、
2:43:33	九つの要素全体の品位ですとか、ひずみですとか、力を
2:43:40	算定を
2:43:41	することになるんですけども、
2:43:44	荷重をかけたときには、緑陰がアノは耐久性を超えないように、1 度、小さくすることになるんですけども、
2:43:55	この荷重をかけた後に、経営ですとか応力を系全体で想定をする際に、要素の方も、県が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:05	払って、
2:44:06	破壊靱性を少し超えてしまった。
2:44:10	それがステップ3の、薄い茶色の線になるんですけどもこちらの状態になったということでございます。
2:44:18	以上です。
2:44:19	規制庁の服部です。これどのような荷重の書き方をしているかちょっとわからなかったので、確認をしたんですけど。
2:44:28	結局この薄い茶色で超えた分というのは、増分応力による応力分だということなんですよ。
2:44:40	増分荷重ですね増分荷重次のステップの下で、さらに荷重をかけたときの分だけ、
2:44:47	応力が大きくなって、破壊基準線をさらにまた超えてしまって、1回再配分した後に、
2:44:55	結構再配分した後にまた次のステップの荷重がかかっちゃうので、その荷重に対してオール応力が発生して、超えてしまったという理解でよろしいですか。
2:45:08	中国電力の藤間です。ご認識の通りでございます。以上です。
2:45:17	規制庁野村ですけど。
2:45:19	これ、荷重倉庫にかけてるわけじゃなくて諸協力はもう変わってないんですよ。そっから追加荷重でかけてるわけじゃないんですよ。
2:45:27	没水余力をどう処理していくかっていうステップなんじゃないんですか。
2:45:36	中国電力の藤村です。
2:45:38	おっしゃる通りで、
2:45:41	初期の上、
2:45:43	県といたしましては、外力はかけずに、それぞれの要素に応力を、
2:45:49	設定をしている。
2:45:51	ということでございます。
2:45:53	回答になっておりますでしょうか。
2:45:55	規制庁に見えるんですけどそうだと思うんですよ。職業力はもう一律にかけてて、それをオーバーした分を剛性の高いところに入れてやってそこをまたオーバーしてくるんでそれをまた細分していくっていう。
2:46:08	そういうことなんじゃないですか。
2:46:11	あ、中国電力の藤間です。おっしゃって、おっしゃっていただいた通りでございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:58	規制庁は規制庁のハットリつあいちょっとこちらの方でも数確認をしておきますが
2:47:04	あまり間違っていないと思いますのでこれで結構だということで理解をしました。ちょっとこちらの方でもちょっと確認をしておきます以上です。
2:47:56	こうしてプログラムがそういうふうなことで
2:48:00	いや、それが、
2:48:04	おかしいな、へ。
2:48:07	はい。規制庁チギラです。ちょっと中でも確認しますということで、はい。
2:48:14	では
2:48:15	確認については1アリタすみません規制庁の三浦ですけど、これあれですよね、岩盤が弾性構成、弾性構成なのか、等価線形構成使ってるのかどっちでしたっけ。
2:48:31	中国電力の藤村です。整合性でございます。以上です。
2:48:35	大作戦を使ってんですね。
2:48:39	違います10日両方増設おっしゃったその通りです。以上です。
2:48:43	ちょっともう一度、
2:48:47	ショウガンイクノフジムラthisアノカワセ野瀬の方で使っております。財産区を使ってんですね。うん。なるほどね。
2:48:53	この5001律でこれ30分だけですもんな応力のね。
2:48:57	はいわかりました。はい、結構です。
2:49:02	はい。
2:49:03	喜多チギラです他、よろしいでしょうか。
2:49:08	はい。
2:49:09	では、パートのナツメについての確認は以上といたします。
2:49:15	はい。
2:49:17	では、全体通して、聞き忘れたこととかあれば、
2:49:22	よろしいですか。
2:49:23	中国電力から全体通して何か補足で説明等ありますか。
2:49:30	はい。中国電力の秦です。当社から特にございません。以上です。はい、わかりました。
2:49:37	それでは本日のヒアリングの方、終了いたします。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。